

石川県 中央会会報

2014
新年号

- 年頭所感
- 中央会事業だより
- ～迎春 年賀誌上交換～



金澤ウェディング協同組合

金澤ウェディング協同組合は、石川県内で婚礼に携わる異業種8社(美容、飲食、貸衣装など)が協力して、低価格で自由な婚礼を提案しようと今年度発足した組合です。
※写真は3つのプランのパンフレット。ご興味がある方はぜひご連絡を。
【詳細は20ページ記事。】

石川県中央会会報

2014

新年号

石川 中央会報

題字

故 安田隆明 名誉会長

年頭所感

- 2 山出 保 石川県中小企業団体中央会会長
3 谷本 正憲 石川県知事
5 鶴田 欣也 全国中小企業団体中央会会長
6 萩尾 太 株式会社商工組合中央金庫金沢支店支店長

巻頭ゼミナール

- 7 本物力をどう高めるか ～新年を展望して～
神戸国際大学経済学部 教授 中村智彦氏
11 発信しよう石川のブランド、地域の魅力
～北陸新幹線開業に向けた情報戦略④～
株式会社エイチツーオー 代表取締役 加茂谷慎治氏

トピックス

- 15 おめでとうございます～秋の叙勲・褒章受賞の方々（会員関係）

中央会事業だより

- 16 県・市に対し平成26年度の予算要望を実施
16 経済講演会並びに交流懇談会を開催
17 情報連絡員会議を開催
17 ～組合・青年部活動～ 会員探訪及び交流会を実施（青年中央会）
18 食の商談会に係る事前セミナーを開催
18 平成25年度レディース中央会全国フォーラムin鳥取へ参加
19 石川のこだわり商品フェア2013が開催 ～本会支援の7社等が出展～
19 組合青年部全国代表者会議、組合青年部全国講習会（三重県）へ参加

News

- 20 新聞掲載記事より
金澤ウェディング協同組合・石川エステティック協同組合／九谷上絵協同組合／いしかわりキョウリョク研究会・かたくり会／のみ商業協同組合／金沢仏壇商工業協同組合／金沢維持管理協同組合／金沢市旅館ホテル協同組合／石川県造園業協同組合／能登ふくく事業協同組合

組合情報Pick up!

- 23 =組合運営Q&A=
25 Pick up! 全国の先進組合事例 =組合資料収集加工事業報告書より=
①地域資源の活用:飼肥の国プレカット協同組合
②ソーシャルビジネス:健軍商店街振興組合

お知らせ

- 26 平成26年度石川県中央会会長表彰並びに石川県知事表彰に係る被表彰候補者の推薦について
27 県内の情報連絡員報告（11月）
31 税務署からのお知らせ
～申告相談会場は平成26年2月3日から!～
32 下請法クイズ（公正取引委員会）
37 ～迎春 年賀誌上交換～
26 個別専門相談室開催のご案内
29 「障害者雇用納付金制度」の対象事業主が拡大されます
31 工業統計調査のご案内
71 くみWai広場
（かしま商業開発協同組合事務局）



「中小企業は、わが国経済の礎」

山 出 保 石川県中小企業団体中央会会長

新年明けましておめでとうございます。

旧年中にお寄せ頂きましたご支援、ご協力に対し、心から感謝を申し上げますとともに、迎えた新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

平成25年は、如何でしたでしょうか。変化の多い年との予測でしたが、円安へのシフト、尖閣列島を巡る中国との摩擦、TPP交渉への参加、消費増税の決定、自然界では記録的な猛暑・豪雨、多発した台風、一方出雲大社や伊勢神宮の遷宮、加えてオリンピックの東京招致決定とおめでたい事象も重なるなど、話題に事欠くことはありませんでした。そして、経済界においても期待と不安が交錯し、慎重な対応の中にも新たな挑戦が大きく求められた年ではなかったかと思えます。

現下の経済情勢を見ますと、穏やかな景気回復基調の中、大企業を中心に企業収益が改善するなど、アベノミックスのプラス効果が、实体经济に徐々に波及しつつあります。この流れが、広く中小・零細企業へも着実に浸透するよう、政府には、大震災からの復興を最大限加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向け全力で取り組むなど、成長戦略（日本再興戦略）を強力に押し進めることが期待されています。

一方、石川県当局においては、時宜を得た経済・雇用対策を展開し、早期の経営診断と経営革新を支援する企業ドック事業や再生支援、また制度金融をはじめとした金融支援制度を大幅に拡充するなど、中小企業の経営や資金面の安心を確保する取り組みを進めており、引き続きの積極姿勢を期待するところであります。

企業間の連携支援を旨とする本会におきましても、地域資源を活用したブランド化や農商工連携によるものづくりを後押しするほか、新規学卒者の就職・定着を支援するなどの雇用対策、更には個別企業の経営革新・再生にも努力してきたところであります。

さて、平成26年の我が国経済であります、「年の前半は、消費増税に対する駆け込み需要の反動減による景気の減速が想定されるものの、その後は政策効果の下支えにより、景気の腰折れは回避され景気拡大に向かう。」との大方の予測がなされていますが、どうでしょうか。

本会としましては、引き続き中小企業組合の支援に軸足を置きながら、企業ドック事業や中小企業応援センターを活用した、専門家派遣による個別企業の経営革新や創業・再生の支援、また農商工連携等による新事業の創出、ブランド化に努めるほか、ものづくり対策や人材養成、更には街ゼミ等の商店街事業への積極的支援に取り組んで行く所存であります。

いずれにしても、中小企業にとってはまだまだ厳しい情勢に変わりはありません。各位には、しっかりとした中長期的な視野をもって、新技術や新商品の開発、人材育成など企業の地力を高めることが大切であります。今年は、午年です。馬は力強さ、躍動感の象徴でもあります。経営基盤を固めることは当然であります。是非とも新しいことに挑戦し、雄々しい飛躍の年として頂きたいと思うのであります。

中小企業は、わが国経済の礎です。その経営基盤は、国民生活並びに地域の中にあります。地域経済活性化の原動力であり、新たな産業と雇用を創出する担い手です。

むすびに、これからも「ともに考え、ともに行動し、結果を出す中央会」にと、役職員一丸となって奮励する決意であります。

各位のご健勝、ご発展を念じつつ変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



「競争力のある 元気な産業づくりを目指して」

谷 本 正 憲 石川県知事

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

最近の本県経済は、鉱工業生産指数や有効求人倍率がリーマンショック前を上回る水準で推移するなど、全体として景気回復の兆しが見えてまいりました。これからは、県内全域において、こうした景気回復を実感できるよう、県としても引き続き、地域経済の下支えを行うとともに、企業ドックによる専門家派遣を行うなど、企業の抱える様々な課題をきめ細かに対応するなど、全力を挙げて取り組んでまいります。

さて、北陸新幹線金沢開業まで、いよいよ一年余りとなりました。昭和四十八年の整備計画決定以来、私達の四十年來の悲願である新幹線開業に向け、高架橋が繋がり、列車名や新型車両も公表されるなど、いよいよ開業が具体的にイメージできる段階となりました。

金沢以西延伸についても、用地測量に着手するなど着実に進んでおり、今後とも、工期短縮など敦賀までの一日も早い完成、大阪までのフル規格による早期全線整備に向け、関西圏を含めた沿線地域との連携を密にし、取り組んでまいります。

まずは金沢開業に向け、開業効果を最大限に引き出し、県内全域に波及させるための対策に全力で取り組む必要があります。そのため、新幹線対策としては他に例を見ないファンドを創設し、首都圏に対する戦略的なPR等をスタートさせており、この取り組みをさらに加速させてまいります。

また県では、平成十七年三月に策定した現在の石川県の産業振興指針である「産業革新戦略」策定以降の本格的な人口減少時代の突入や新興国の成長に伴う国内メーカーの国際展開の増加、本県における陸・海・空の交流基盤の整備など、県内企業を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後十年を見据えた新たな産業振興指針の検討を進めています。

具体的には、昨年六月に、産業界や高等教育機関等の代表者で構成する石川県産業成長戦略検討委員会を設置するとともに、機械・繊維・食品・ITの本県の基幹四業種と、業種を横断する課題である人材及び国際展開をテーマとする部会を設置し、それぞれの課題や今後の方向性などについての議論を精力的に行っているところです。引き続き、委員会や部会で議論を深めていただき、本県の成長戦略にふさわしい振興指針を策定したいと考えております。

首都圏において、本県の総合的なPR拠点となる新たなアンテナショップについては、昨年九月に、銀座二丁目に新築されるビルの三フロアを移転先に選定したところです。現在の約三倍の面積を確保でき、生鮮食料品を含む県産品を幅広く取り扱うことができるなど、首都圏において、歴史と伝統文化、観光、食など本県の様々な魅力を戦略的かつ継続的に発信していくための拠点としてふさわしい物件と考えています。今後は、今年秋のオープンへ向け、準備に万全を期してまいります。

また、県内企業の新たな商品開発への支援については、昨年、県内金融機関の協力を得て「いしかわ産業化資源活用推進ファンド(活性化ファンド)」を百億円上積みし、全国で最大規模となる三百億円の基金に拡充することにより、採択枠を拡大し、有望な案件をしっかりと支援しているところです。

開発された商品については、昨年も金沢市内の百貨店で「石川のこだわり商品フェア」を開催したところですが、今回のファンドの拡充を機に、北陸新幹線金沢開業も見据え、三月に新たに首都圏でもフェアを開催することといたしました。これまでのフェアで好評を得た商品をPRするとともに、首都圏の消費者等からいただく評価をさらなる商品開発や販路開拓に結びつけていきたいと考えております。

これらに加えて、防災・減災対策の強化や医療・福祉の充実など県民生活の安全・安心の確保にも意を用いてまいりたいと考えております。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。





年頭に当たって

鶴田 欣也 全国中小企業団体中央会会長

新年、明けましておめでとうございます。

我が国経済は長く続いたデフレからの脱却をうかがう局面に入ってきましたが、中小企業は、電気料金、燃料・原材料等の高騰に伴うコスト増により、収益状況が依然として低い水準に止まるなど景気回復の実感が伴わない厳しい状況が続いています。加えて、今年4月1日から実施される消費税率の8%への引上げにより、その影響に堪え、乗り越えられるのか先行きが見通せない経営環境にあります。

政府は、昨年9月から「経済の好循環実現に向けた政労使会議」を開催するなど物価の上昇とそれに見合う賃金上昇に向けた検討を行っています。私は、中小企業を代表して、この政労使会議に参画し、安倍総理に対して、中小企業の生産性向上に向けた設備投資や地域のインフラづくり等の促進、下請け代金の引上げ等を強く要望するとともに、中央会として、ものづくり補助金等の施策をフルに活用して、中小企業が賃上げできうる経営状態になるよう全力を尽くしていく旨申し上げました。今年は、中小企業が下から上を跳ね返すような組合魂を持って果敢にリスクに挑戦する年にしていきたいと考えています。

私は、昨年の通常総会で3期目の会長職を務めることとなりました。

トップセミナーや各ブロック会長会議等における会長同志の交流は、東日本大震災の発生後、絆の力を被災地に届ける際に大いに活かされたと自負しています。間もなく震災発生から3年を迎えますが、被災地の組合と中央会の懸命な努力や山積する今後の課題への対応を思うと、全国中央会の責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。消費税率の引上げへの対応には、国内の消費動向や引上げ税率の転嫁状況を注視しつつ、価格競争力を強化するための経営支援、ものづくり補助金等を活用した生産性の向上支援、設備投資等のための税制及び金融支援など、持てる支援策をフル活用して取り組んでいく必要があります。特に、中央会は、価格交渉力が弱い納入業者が割を食うことのないよう転嫁や表示カテルの組成を図り、消費税の円滑な転嫁を成し遂げられるよう支援してまいります。

また、昨年秋口から中小企業政策審議会小規模企業基本政策小委員会等で討議されてきた、小規模企業に焦点を当てた新たな法律が具体化します。小規模企業振興基本法（仮称）を早期に制定するとともに、必ず、小規模企業の連携・組織化支援を法文上に明確に位置づけてもらわなければなりません。小規模企業の開業率の向上には、女性が活躍している企業組合制度が効果的ですし、海外パートナーシップ等を活用した海外展開や黒字の小規模企業の増加を図っていくためには、企業間で連携していくことが効率的だと考えています。電力等エネルギーコスト、事業承継税制や個人保証等、そのほかに大切な政策課題は数多く残されていますが、1人1人の絆の力を結集して事に当たれば、必ず打開の道は拓かれるものと確信をしています。

2020年に東京において56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが開催されます。6年後には、震災復興も完了し、組合等連携組織に集う多くの皆様とともに笑顔で「おもてなし」をしようではありませんか。

本年が皆様にとって、好機を実感できる素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成26年 元旦



年頭所感

萩尾 太 株式会社 商工組合中央金庫
金沢支店 支店長

平成26年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は政府の経済政策への期待から年初より円安・株高が進行し、消費者マインドの改善や大型補正予算の効果により、個人消費や公共投資を中心に持ち直しの動きとなりました。その後は、日本銀行の金融緩和を受けた円安効果や海外経済の回復により輸出環境が改善したことから、企業の生産活動も次第に活発化しました。当金庫の「中小企業月次景況観測」によると、個人消費の盛り上がりや復興投資に牽引されて中小企業の景況感は持ち直しつつあり、10月の景況判断指数は好転・悪化の境目となる50を6年7ヵ月ぶりに上回りました。ただし、仕入価格の上昇を販売価格への転嫁が進まない中小企業も多く、先行きに対する不透明感が残っております。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、デフレ不況等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みました。平成23年5月より取扱いを開始した東日本大震災復興特別貸付については、3万7千件、2兆1千億円を超え、これらを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、14万9千件、8兆9千億円を超える規模となりました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に大きく貢献することができました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、昨年4月に事業規模を新たに1兆円追加するなど支援内容を拡充・発展させた成長・創業支援プログラムを活用し、全力でサポートしてまいりました。同プログラムは、累計実績で1万2千件、6千億円を超えるなど着実に成果を上げることができました。

金沢支店としましては、引き続き石川県中小企業団体中央会様と連携し、皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、経営改善はもとより、新たな成長に向けた設備計画へのサポート等、お取引先の皆さまが抱える経営課題、設備投資の取り組みに対し、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜われますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

本物力をどう高めるか

～新年を展望して～

中村智彦氏／神戸国際大学経済学部 教授

2013年は、なにやら騒がしいままに暮れていった。アベノミクスで景気が上昇しているという見方も多いが、一方で中小企業経営者、特に地方においてはその実感は乏しいままであった。実際、10月以降の経済指標は低下傾向が見られ、大企業の収益回復も円安による外貨建て利益の拡大と、人員削減によるコスト削減努力の効果だと指摘されており、前向きな収益回復であるという意見は少ない。また、一部の景気回復効果も、復興事業や今後のオリンピック特需による公共工事によるものと、消費税値上げ前の駆け込み需要によるものであり、先行きが不透明になりつつあるというのが大方の見方である。

「事業者向けの素材などが売り切れてしまい、メーカーに問い合わせても、いつ入荷になるかわからないと回答すると、怒り出す人もいて、大変です。」ホームセンターでアルバイトをしている学生がぼやく。「店長も、消費税値上げ前に売れるだけ売って利益を確保しておかないと、この分だと反動が大きいと心配していました。」とも言う。

景気の「気」は、気分の気とも、雰囲気気とも言う。アルバイトの学生までが先行きに不安を感じるようでは、なかなか好景気に結びつくのは難しいかもしれない。4月の消費税値上げを直前に控えて、なにかあまり楽観できないお正月という雰囲気である。

しかし、一方でここ北陸には大きな楽しみが出てきた。言わずもがな北陸新幹線の開通がいよいよ一年後になったことだ。ここで盛り上がらなければ、いつ盛り上がるのか。「百年に一回のチャンス」と言われるのも、おおげさではない。今年一年は、石川県も新幹線開通を目前に控え、徐々に盛り上がっていくに違いない。そんな中で、経営者は何を考えていけば良いのだろうか。お正月ののんびりした雰囲気の中で、読んでいただき、考えていただけるようにと今回は書いてみました。

歩みが鈍くても亀になりたい!?

昨年夏に話題になった映画といえば、ジブリの「風立ちぬ」である。海外でも好評であるとのこと

だが、少々難しく、お子さんやお孫さんをお連れになった方は、大変な思いをしたのではないだろうか。

あの映画の前半部分、主人公と会社の同僚が飛行機製造について話し合う場面が出てくる。当時の日本の飛行機製造技術は遅れていて、その遅れをどうすればいいのかと語り合うくだりだ。「俺たちはアキレス（巨人）になって亀を追いかけるしかない」という同僚に対して、主人公はこうつぶやく。「小さくてもカメになる道はないのかなあ」

その場面は、そこで終わり、その後にも何の説明もない。しかし、非常に印象の深い場面である。

第二次世界大戦前、日本はヨーロッパ各国に追いつこうと努力をしてきた。そして、第二次世界大戦後は、アメリカに追いつこうと努力をしてきたのである。品質がよく価格が安くなれば、多くの人がそれを手に入れられるようになるという松下幸之助氏の水道哲学も、松下氏と激しく対立した中内功氏の「より良いものをより安く」にしても、キーワードは安く作るということにあった。品質がよく低価格であれば、国内のみならず海外の市場でも受け入れられると必死に日本人は生産を行ってきたのである。そして、実際に先を行くライバルたちを次々に追い落とし、1980年代後半から1990年代前半にかけては「ジャパン・アズ・ナンバー1」などと言われるほど、世界のトップランナーとして躍り出たのである。

そう日本はアキレスになることに成功し、次々と亀を追い抜かすことに成功したのである。しかし、その後、先に行くものを見失ったことで、迷走を始める。それは亀になることができず、巨人のまま走り続けなければならなくなった悲劇でもある。昨今の家電メーカーの迷走ぶりを見るとそれがよく分かるだろう。また、もう少し遡ればあれほど隆盛を誇った日本の繊維産業が、デザインやアートの部分でほとんど見るべきものがないほど失ってしまったこともその一事例だろう。

安物を作れば売れる……

松下幸之助氏は、各部署の責任者たちに「経営者たれ」と檄を飛ばしていた。松下電器では、事業部制が採られ、各事業部がひとつの会社のように機能し、時には競争するような仕組みになっていた。しかし、よく見ていくと、社内は、総務（経営管理）と製造、販売（営業）の大きく三つに分けられて、それらが拮抗するように形作られていた。

なぜそんな風になっていたのか。製造部門の人たちは、ともすれば職人気質が強く、できるだけ良いものを作ろうとするあまり、良い材料を使い、手間をかけ、結果、非常に高額なものを作り出してしまうことがある。「製品はできるが、商品にならない」とよく言われる所以である。

一方、販売・営業が強いと、とにかく価格低下、コスト削減ばかりに目が行き、品質が疎かになってしまうのだ。「より良いものをより安く」してくれれば、いくらでも売ってきますよというのが営業マンの常だ。しかし、あまりにこの方向が強くなると、思わぬ事故を引き起こしたり、品質の悪さから顧客が逃げ出すということになる。

これら二つの部署の調整を行うのが、総務であり、経営管理の役目である。品質と価格、コストが釣り合うようにする仕事は重要である。

中小企業で難しいのは、大企業のように人材が多くなく、部署を分けて担当させるわけには行かない点である。しばし、経営者がこの三つを兼ねなければやっていけない。そうすると、三つのうちどれかに力が入りすぎてバランスを壊す危険性と常に向き合っているのだ。

いずれにしても、第二次世界大戦後から2000年になるまでは、日本の人口は増加基調であり、国内市場は黙っていても拡大し、そこに輸出の増加によって、安くて収益性が多少低くても、大量に生産し、販売できれば利益は確保できたのである。

現在では、それが逆に回り始めている。国内の人口は減少傾向にあり、国内市場は縮小する。さらに、大企業の生産拠点の海外移転によって、低価格競争では国内企業は生き残れない水準にまで低下してしまった。

なぜティファールの湯沸かしポットが売れるのか

「ダイソンのサイクロン掃除機なんて、音はでか

いわ、電気は食うわ、いいのはゴミをよく吸うだけじゃないか」ととある宴席で、あるエンジニアが言った。周囲は、「そこだろうが！」と応じたのだが、みなさんはどう感じるだろうか。

同じようにティファールの湯沸かしポットも、いつの間にかスーパーの売り場の定番商品となり、多くの家庭や職場に入り込んでいる。

掃除機は、ホースやコードが絡まないとか、音が静かだとか、空気清浄機能があるだとか、紙パックでゴミが捨てられるとか色々な機能がくっついてきた。そうこうしているうちに多くの人は気がついたのだ。「掃除機って、ゴミをちゃんと吸うためのものだった」と。

同じように、魔法瓶もいつの間にかコードがつき、お湯がわかせるようになって、それが保温できるようになり、中のお湯の量が確認できるようになり、カルキ抜きができるようになり、いろいろな機能が満載されたあげく、やはり多くの人は気がついたのだ。「必要な時に、必要な量のお湯が沸かすことができれば、それでいいんだ」と。

おまけをつけるのも 値段を安くするのと同じこと

日本のものづくりの何がおかしかったのだろうか。つまり、競争相手よりもお得感を出すために、いろいろ機能＝おまけをつけていったのだ。これは要するに値段を安くするのと同じ発想だ。

「ダイソンの掃除機だって、ティファールの湯沸かしポットだって、日本のメーカーの持っている技術で十分に作れるものだ」というのは、確かに正しい指摘だが、一方でできなかった理由を今、私たちは考えとかねばならない。

その理由とは、「より良いものをより安く」売らねばならないということが染み付いてしまっているものづくりの現場にある。いや、もしかするとサービス業などでも同じような発想が染み付いているかもしれない。

価格が安いファストフードの店でも店員の対応が良いと、日本を訪問した外国人が驚嘆してきた。なぜならば、海外では良いサービスを受けたければ、それなりの料金を払わなければいけない。それが日本では、非常にレベルが高かったのである。日本では当たり前のことが、世界では当たり前ではなかったのだ。

昨年、全日空が出資して日本に進出した格安航空会社エア・アジア・ジャパンが早々に撤退した。空港の規制など様々な理由が原因として挙げられているが、その一つが日本顧客の要求レベルの高さにあると言われている。つまり、日本以外では「安いだから、サービスレベルが低くても当然」と顧客も理解しているのだが、日本ではそういう理解はまだされていなかったというのである。

「価格に関係なく高品質な商品やサービスを提供する」というのは、確かに失って欲しくない日本の良さかもしれないが、しかし、それを維持するために無理をして、結果的にその品質を失うとしたら、本末転倒である。

1800円のりんご

岩手県滝沢市は、名峰岩手山を抱え、小岩井農場が立地するという土地であると同時に、盛岡市に隣接するベッドタウンとしての性格を併せ持つ街である。昨年末、この滝沢市（2013年末までは日本一大きな村。2014年1月より市になった。）を訪れた際、役所で紹介されたのが一個1800円のりんごである。「滝沢はるか」と名づけられたりんごは、2002年に岩手大が開発した黄色品種「はるか」の中でも特に選ばれたもの。この種類は、普通りんごの糖度が13度といわれているのに対して、糖度が15度以上ある。その中でも糖度16度以上、蜜入り30%以上のものを市（当時は村）が独自に「滝沢はるか」と認定し、観光協会がインターネットショップ限定で販売した。蜜入りセンサーで検査し、基準をクリアしたりんごは、わずかに約500個。しかし、その価格の高さから、販売に懸念もあったというが、ちょうど販売開始の12月5日に役所を訪れた私が耳にしたのは、次のような驚くべき言葉だった。



1800円のりんごが11分で完売。
「滝沢はるか」(画像 滝沢市役所提供)

「一番価格の高いプレミアム、一個1800円は販売開始11分で完売しちゃいました。もうありません。」

従来、農家の卸値が100円、一般への販売価格が300円程度だったという。しかし、糖度が高く、蜜が入ってるという特徴を生かし、特にその中でも優良なものを厳選して、高価格帯で販売した戦略が当たったと言える。

この滝沢市は、このりんごの戦略がたまたま当たったというのではなく、以前から地元産のスイカをはじめ、様々な製品の販売に取り組んできた。その戦略の基本は、ブランド化である。

「スイカは3000円。大手スーパーの売り場でも、滝沢産という表示をして、区別しておいてくれるようになってきました。イワナなども銀座でおいてくれる店が出来たし、着実に滝沢産という色分けができてきています。」(滝沢市)

一方で、この滝沢市には、岩手県立大学が立地し、IT関連の共同利用実験施設が開設され、すでにIT関連企業等の立地が進んでいる。

「欧米の企業などの視察も多いです。私たちがふだん何気なく見ている景色が、欧米の人たちに非常に高い評価を受け、ITなどクリエイティブな職場にはちょうど良いと言ってくれ、実際に事務所を作ってくれる企業も出てきています。」

IPUイノベーションセンターと名付けられた産学連携サポート施設は、すでに入居企業で満室となり、引き合いも多いことから現在、さらに増築中である。

大事なことは「本物」を大事にすること

3000円のスイカ、1800円のりんごが教えてくれることはなにか。この事例を見誤ってもらっては困る。単に高ければ売れるということではない。地道に地元の逸品を探し出し、さらにそれを科学的な検査を行い、さらにPRや包装なども研究し、それから売りに出している点から学ぶべきなのである。

通常よりも価格が高い分、もし品質が満足のいかないものであったら、顧客の失望は大きいだろう。不評はすぐに広がり、ダメージも大きい。だからこそ、注意深くマーケティングを進めてきたと言う。

冒頭から、日本では「より良いものをより安く」売ってきたと述べた。その努力と美風は捨てたものではないが、価格で勝負するのであれば、大手企業や海外製品との競争に、中小企業や地方が勝っていくのは困難である。

小さくても確実に歩みを進める亀へ

いま、私たちに求められているのは、小さくても確実に歩みを進める亀になることなのだ。

いよいよ来年に迫った北陸新幹線の開業は、単に観光振興にだけ影響があると言うのではなく、農林水産業や製造業など広範に影響がある。

その影響をプラスにするか、マイナスにするかは、それぞれの経営者の手腕にかかっている。

安さを競うのではなく、そこにしかない、そこに



本物を求めて、外国人は日本にやってくる。(神戸市東灘区)

行かないと手に入らない、そんなモノやサービスを打ち出せるか。つまりは、本物を見いだして、そこにいかに価値を付与できるかである。

せっかくのおいしいりんごも、その市場価値を見だし、情報を発信し、求める顧客に届くまでを整えなければ、「おいしくて安いりんご」でスーパーに積まれていただけだったろう。

新幹線開業をきっかけに、自社の「黄金のりんご」を探してみませんか。



地域の特徴をどう打ち出していくか、自分たちで研究する動きも活発になっている。
(熊本県美里町で開催された全国フットパス協議会)

中村 智彦 (なかむら ともひこ)

【常勤】

神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】2012年度

日本福祉大学経済学部 関西大学商学部

【研究調査のテーマ】

- ・中小企業論(中小企業間ネットワーク、中小企業政策など。)
- ・地域経済論(製造業、商店街問題、企業誘致、地方自治体による産業支援問題など。)

☆フィールドでの調査や研究を得意としております。個人的趣味から、最近のニッチ市場やマニア市場なども関心の対象です。



【生年】

1964年 東京都町田市生まれ

【職歴】

1988年～1991年 Thai Airways International Co.,Ltd 日本支社勤務
 1991年～1994年 株式会社PHP総合研究所勤務
 [1992～1993年 シンガポール支社駐在]
 1996年～2001年 大阪府立産業開発研究所 経済調査部国際調査室勤務
 2001年～2007年 日本福祉大学経済学部 助教授
 2007年 神戸国際大学経済学部 教授
 2008年～ テレビ大阪「ニュース Biz」コメンテーター

【参考】

筆者のホームページ → <http://monodukuri.jp/>
 神戸から山形へ行って考えた～神戸国際大学中村ゼミ
 → <http://samidare.jp/tomsemi/>

発信しよう石川のブランド、地域の魅力

北陸新幹線開業に向けた情報戦略 ④

加茂谷 慎治 氏 株式会社エイチツーオー 代表取締役 クリエイティブディレクター

新しい文化が作り出す「地域ブランド」

「聖地巡礼」という言葉をご存じでしょうか。一般的には、神や仏などに関わる神聖な土地を巡る旅を意味する宗教的行為です。ところが今日、若者を中心に行われている「聖地巡礼」は、小説や映画の舞台となった地を巡ることのようです。特にアニメ作品に関わりのある場所を訪ねるファンが増えています。それまで、若者には縁遠かった地域がアニメの舞台となったことで、ファンが詰めかけてにぎわいを見せているのです。「クールジャパン」と銘打って海外の誘客に活かされたり、新たな資源として海外にも輸出されるようになった「アニメ」は、新しい文化として地域のブランドを形成する資源になるのです。



のと鉄道西岸駅は、アニメ「花咲くいろは」の「湯乃鷺駅」の舞台のモデルとなり、今はアニメ作品に登場した看板が立てられている
=七尾市中島町(写真提供のと鉄道)

ロケ地巡りは人気のツアー

小説の舞台や映画のロケ地を訪ねることは、昔から人気のある旅の形態でした。ロケ地巡りと呼ばれ、海外旅行でもガイドが案内する定番でもあります。映画「ローマの休日」でオードリー・ヘップバーンとグレゴリー・ペックが訪れ、うそをつくものはその腕を噛み切られるという伝説を試そうとした「真実の口」は映画の世界的大ヒット以降、今も訪れる観光客が列を作るほどのにぎわいを見せています。韓国はもちろん日本でも韓流ドラマのロケ地巡りはツアーの人気商品となっています。

「聖地巡礼」は古くて新しいブーム

若者を中心とするアニメファンの間でも、単に作品を見るだけでなく、作品により深く触れたい、

登場人物が現れた場所を訪れ、そこで得られる感覚を知ることによって作品の世界観をより深く理解したいと考える人は多いようです。近年では、アニメ作品の舞台となった場所を巡るためのガイド



安田賢憲さん

本もいくつか発売されています。コンテンツビジネスを研究する創価大学経営学部の安田賢憲准教授は「物語の内容に感動し共感すると、さらに深く追体験しようと舞台を訪れたいというのは人間の自然な欲求なのであろう。『聖地巡礼』は古くて新しい普遍的なブームといえる」と分析します。

参拝者数が5倍になった鷺宮神社

平成19(2007)年に放映されたアニメ「らき☆

すた」は女子高生の生活を描いた作品。登場人物の姉妹の父親が宮司を務める「鷹宮(たかのみや)神社」のモデルとなったのは、埼玉県久喜市鷲宮(わしみや)地区の鷲宮(わしのみや)神社でした。

久喜市商工会鷲宮支所によると、鷲宮神社の参拝者数はアニメ放映前の平成19(2007)年の三が日には約9万人だったものの、放送が始まった翌20(2008)年には約30万人となり、21(2009)年には約42万人、22(2010)年約45万人と増え続け、23(2011)年からは毎年約47万人とすっかり定着した感があります。そして25(2014)年も同様に47万人の参拝者数が見込まれています。

集まるファンがまたファンを呼ぶ

参拝者の中にはアニメのコスチュームに身を包んだファンも多く、さらにこうしたコスチューム姿をひと目見ようと集まってくるファンが増え、ファンがファンを呼ぶ形でにぎわいを生み出しているのです。鷲宮地区では、地域の商店で飲食や買い物をしたお客様を対象とした「らっきー☆スタンプラリー」を開催、スタンプを集めると「らっきー☆すた」のイラストが入った記念品が当たる取り組みや、アニメ好きのいわゆる「オタク」の若者を対象にした「オタ婚活」などさまざまな事業を展開します。登場人物の性格やセリフにあやかった独自のソースやケチャップの商品開発も行われています。

久喜市商工会鷲宮支所の試算では、スタンプラリーによる飲食やグッズの販売といった直接的な経済効果は2億円、報道による広告宣伝効果や来訪者の消費効果を含めた間接的な経済効果は10億円に上るとされます。同支所の松本真治さんは「地域の方やファンの意向をうかがい、今後とも新たな需要にこたえられるサービスや商品開発を進めたい」と話し、アニメを活かした地域ブランドづくりに意欲を見せます。

石川県内にも「聖地」が

アニメの聖地を訪れるファンの動きは石川県内でもみられます。平成23(2011)年にテレビで放

映されたアニメ作品「花咲くいろは」は石川県が舞台となった作品でした。物語では、祖母の経営する石川県内の温泉旅館で働くことになった東京育ちの女子高生が成長する様子が描かれます。主人公が働く「湯乃鷲温泉」は金沢市の湯涌温泉、作品に登場する最寄駅「湯乃鷲駅」は七尾市ののと鉄道西岸駅がそれぞれモデルとなっているのです。

「花咲くいろは」は、富山県南砺市に本社のあるアニメ制作会社ピーエーワークスが石川県を舞台に作品を作ろうと企画したもので、温泉地の中からふさわしい場所として湯涌温泉が選ばれました。制作スタッフが現地を訪れ、まちの風景や旅館の建物をカメラに収めていったのです。その際、湯涌温泉観光協会女性部「かたくり会」会長で、かなや旅館女将の安藤喜代子さんは、制作に役立つのならと客室だけでなく、普段は外部に見せることのない調理場や従業員寮を案内して回りました。



安藤喜代子さん

安藤さんは、「後にアニメを見て宿泊に来られた若いお客さまから、階段や従業員寮の入り口を撮影してもいいですかと尋ねられました。聞けば、アニメにそのまま登場しているのでぜひ記念に写したいとのことだったので、びっくりしました」と話します。



湯涌温泉には、「湯涌温泉」と「湯乃鷲温泉」の二つのバス停が立っている
=金沢市湯涌温泉

アニメから生まれたお祭り

物語の中では「ぼんぼり祭り」というお祭りが湯乃鷲温泉の祭礼として登場します。架空のお祭り

だったのですが、アニメの放映後、「湯涌ぼんぼり祭り」として再現されることになります。安藤さんによると、湯涌温泉には冬に貯蔵した雪を加賀藩主が将軍に献上したことにちなんで「氷室開き(ひむろびらき)」という祭りが伝統的に行われてきたものの、夜のイベントがなく、幻想的な「ぼんぼり祭り」をぜひ開催しようという声が上がリ、実現の運びとなったそうです。

平成23(2011)年10月に初めて開催された「湯涌ぼんぼり祭り」の参加者は第一回が5千人、第二回が7千人、そして第三回の25年には1万人(いずれも主催者発表)と増え続けています。ただ、湯涌温泉観光協会に加盟する旅館は9軒、宿泊可能人員は合わせても500人程度に過ぎません。そのため、収容能力を超えた大規模イベントに対応するには、地元住民はもちろんのこと、バス会社と連携してシャトルバスを走らせ、比較的近い場所であって広い駐車場を持つ金沢大学に依頼して臨時駐車場を設けるなどの協力体制が欠かせません。アニメがきっかけとなり、温泉街を中心とした地域おこしのための地域連携が生まれつつあります。



湯涌温泉では、アニメから生まれた「ぼんぼり祭り」が毎年開催されるようになった
=金沢市湯涌温泉(写真提供 湯涌温泉観光協会)

欧米からも若者が目を輝かせ訪問

ネット上で知ったのか、香港、シンガポール、タイなどのアジア諸国をはじめフランスなど欧米からもアニメを見た10代、20代の若者が訪ねてくるようになったといいます。彼らはまだ見ぬ物語の舞台をひと目みようと思いを輝かせ、金沢のまちな

走れ! ハシヅメくん 第4回

文・かもやしんじ 絵・きわださとみ



から30分以上かけてバスに乗ってくるのです。

アニメの聖地見たさで訪ねてきたものの、アニメに登場する以前から変わることのない湯涌温泉の雰囲気にかかれ、「湯涌ファン」となって、祭り以外の時期に二度三度と訪ねてくる若者も少なくありません。

「アニメで湯涌を知り、足を運んでくださった方が『何だよここは』とがっかりしないよう湯涌温泉の雰囲気やおもてなしを大事にしたい。訪れた方が歳をとっても、若い時の思い出の地として心に刻んでもらい、湯涌ってよかったな、また訪ねたいなど思っただけのような場所にしたい」。こう話す安藤さんの視線の先は、10年、20年経っても魅力が色あせることのない湯涌温泉の姿です。

アニメが掘り起こした 「地域ブランド」を文化に

先の安田准教授は経営戦略論の面から、観光地としての地域の魅力を高めるためには、

- 1 経済的価値がある
- 2 希少性がある
- 3 模倣困難性がある

という3点を兼ね備えた観光資源を発見し、育てることと同時に、そうした観光資源を活かす組織づくりが不可欠であると指摘しています。その意味から、湯涌温泉の取り組みは「図らずも『アニメ

メ作品の聖地』という観光資源を手にした湯涌温泉がその資源を活かした協力体制を構築することで観光地としての魅力を高め、誘客という成果を生み出している好事例である」と話し、高く評価をしています。

アニメの人气がどこまで続くのかは誰にも予測のつかないところです。一時的なブームに終わることのないよう、リピーターに足を運んでもらうには、単なるイベントにとどまらず、湯涌温泉がその魅力を失わないこと、そしてアニメで描かれた雰囲気あるぼんぼり祭りを地元の祭りとして定着させることが必要になってきます。アニメによって掘り起こされた「地域ブランド」を文化に発展させ、魅力あるまちづくりにつなげることが大切なのではないのでしょうか。



ぼんぼり祭りの日には、国内外からたくさんのファンが「聖地」を訪れた
＝金沢市湯涌温泉 (写真提供 湯涌温泉観光協会)

[参考文献/ホームページ]

- 菊池宣広(2013)「花いろの主題は『働く喜び』 元気が出るように明るさを大事に」『北國文華』北國新聞社, 54, 15-25
- 佐々木一成(2011)『地域ブランドと魅力あるまちづくり』学芸出版社
- 安田賢憲(2011)「大学生による提案活動『箱根エヴァプロジェクト』:
(財)箱根観光協会への(株)角川マーケティングとの共同提案活動を通じて」『フジビジネスレビュー』第3号, 35-44頁。
- 久喜市商工会鷺宮支所ホームページ <http://www.wasimiya.org/>
- 湯涌温泉観光協会ホームページ <http://yuwaku.gr.jp/> ※敬称略



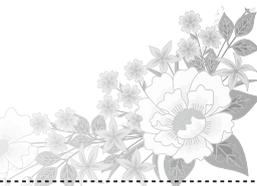
加茂谷 慎治 (かもや・しんじ)

株式会社エイチツーオー 代表取締役・クリエイティブディレクター。

1964年生まれ。関西学院大学卒。企業で企画、法務、広報、秘書の業務を担当。2008年、デザイン総合プロデュース会社、株式会社エイチツーオー設立。情報誌の記事執筆、書籍の編集、企業・団体の情報発信などを手がける。石川県男女共同参画審議会委員、共同通信社全国政経懇話会講師、石川地域づくりコーディネーター、いしかわ観光特使を務める。農商工と消費者がつながるにぎわいの場づくり「じわもんマルシェプロジェクト」が進行中。

おめでとうございます

秋の叙勲・褒章受章の方々（会員関係）



平成25年秋の叙勲・褒章受章者が決定され、本会関係では、次の方々はその荣誉に輝かれています。

心からお慶び申し上げます。今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

(敬称略)

旭日小綬章

五嶋 耕太郎

前 石川県中小企業団体中央会 会長
前 輪島市長
元 輪島漆器商工業協同組合 理事長

旭日双光章

村田 信親

現 石川県中小企業団体中央会 副会長
前 石川県プレス工業協同組合 理事長

直江 茂行

前 石川県中小企業団体中央会 副会長
前 石川県醤油協同組合連合会 理事長
現 大野もろみ蔵協同組合 理事長

井並 二六三郎

現 石川県食肉事業協同組合連合会 理事長
現 石川県食肉商工業協同組合 理事長

北川 晶夫

前 石川県管工事協同組合 理事長

旭日単光章

元雄 久直

元 石川県飲食業生活衛生同業組合 理事長
元 全国飲食業生活衛生同業組合 理事

黄綬褒章

藤井 寛治

現 小松鉄工団地協同組合 理事長
現 小松鉄工機器協同組合 理事長

藍綬褒章

兼田 春生

現 石川県保険薬局協同組合 理事
現 公益社団法人石川県薬剤師会 副会長

県・市に対し平成26年度の予算要望を実施

先に開催した企画委員会の承認を経て、12月5日(木)、石川県及び金沢市に対し、中小企業を取り巻く環境が厳しく、先行きも不透明な状況において、喫緊の景気対策や中小企業関係予算の更なる拡充などを求める要望を行いました。

当日は、山出会長のほか12名の企画委員の方々が参加されました。

中小企業組合及び中小企業の振興発展にかかる主な予算要望事項

- 1 中小企業に対する支援策の拡充
- 2 エネルギー対策・危機管理対策への支援
- 3 伝統的工芸品等の地場産品を中心とした地域産業の振興に対する支援
- 4 中心市街地（中小小売商業）の活性化策の積極的推進
- 5 北陸新幹線開業に向けた観光誘客及び各種大会開催への支援



谷本知事に要望書を手渡す山出会長



山野金沢市長に対する要望

経済講演会並びに交流懇談会を開催

11月28日(木)、金沢ニューグランドホテルにおいて経済講演会及び交流懇談会を、87名と多数の参加者のもと開催しました。

経済講演会では、財務省 北陸財務局長 工藤均氏を講師に迎え、「我が国財政の現状と課題」というテーマについてご講演をいただきました。

工藤氏からは、北陸の経済動向について「個人消費、生産、雇用情勢の3項目において、「回復しつつある」と判断され、また総括判断においては、緩やかに回復しつつあるという結果。「回復」判断は、平成9年以来となる。」など地場経済の動向等について説明がなされました。

講演会終了後、参加者間の交流を深めるため懇談会を開催しました。懇談会では谷本正憲石川県知事も交え、大いに賑わいました。



北陸財務局長 工藤均 氏

情報連絡員会議を開催～「地域多様性が生み出す21世紀日本の活力」について

当会における業界の景気動向や業界動向を把握する上での重要な役割を担っていただいている、『情報連絡員』の方々が集まり、情報連絡員会議を開催しました。

会議に先立って行った研究会では「地域多様性が生み出す21世紀日本の活力～都市を測る、都市を活かす：石川県を中心に～」と題し、野村證券株式会社 金融公共公益法人部 主任研究員 和田 理都子氏からご講演をいただきました。

和田氏は「人口減少下でも都市が活力を維持しているところは、今後も魅力を保ち、人が集まり、将来の持続可能性が高まり、地域の特徴を最大限活かす努力・多様性の追求が『選ばれる都市』を形成される。そのためには各地域が持つ特徴を分析し、どういう地域なのかを把握することが大事である。今後は、「環境と健康、観光」の3Kの時代がやってくるため、未来を作るには10年後を見据え、過去の成功体験から脱却し新しい発想こそがオンリーワンを可能にする」と述べられ、情報連絡員の方々は大変興味深く感じられたようです。

引き続き、開催した意見交換会では、参加者から、それぞれ業界特有の厳しい現状・懸念と将来への取組等について発言がなされました。普段、FAXやメールでのやり取りが多い連絡員の方々の、生の声をお聞きすることができた貴重な時間となりました。

情報連絡員：県内58組合（製造業8業種31組合・非製造業6業種27組合）の役員や事務局の方々に委嘱して、毎月「売上高」、「収益状況」、「業界の景況」などの9項目について3段階評価するとともに特記事項に関して調査し、当会にてその情報を取りまとめ、DI値による分析を実施しております。



研究会の様子

～組合・青年部活動～会員探訪及び交流会を実施（青年中央会）

青年中央会の会員探訪及び交流会を11月21日（木）会員等14人が参加のもと実施しました。

この事業は、名刺交換だけでは分からない各青年部活動の理解を深めることや交流を図ることを目的としており、7回目となる今年度は小松・加賀地区において、『新たな展開で進化する青年部や企業活動を見よう！』をテーマに実施しました。

最初に訪問した、株式会社中石食品工業（石川県製麺工業協同組合組合員）では加賀藩の名物として珍重され、芭蕉も食べたといわれる小松うどんの歴史や業界のこれまでの経緯、同社の製造方法や企業として向かうべき方向性についての説明を受け、その後、工場施設の視察を行いました。

次に訪問した山代温泉旅館「瑠璃光」（石川県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部加賀支部）では、加賀温泉郷の情報発信・おもてなしの向上を目指して立ち上げられたプロジェクトである、「レディー・カガ」の誕生やその情報発信、イベント活動などについて説明をいただきました。

最後に株式会社シモアラ（石川県木材青壮年会）を中心に設立、加賀地方と福井県嶺南地方の工務店、大工、建設業者に対する住宅構造材の供給を担っている有限会社北陸プレカット工場を訪問し、工場視察、最新機械の導入と効果などの説明を受けました。

参加者は普段見たり、聞くことのできない話を聞くなどし、参加者間でも交流が図られました。



中石食品工業 工場視察



山代温泉旅館「瑠璃光」にて



有限会社北陸プレカット 工場視察

新たな販路を目指して!! 食の商談会に係る事前セミナーを開催

県内中小企業事業者の「食」に絞った商品の新たな販路拡大を目的として、12月6日(金)地場産業振興センターにて食の商談会に係る事前セミナーを開催いたしました。

この説明会は、2月26日(水)の地域販路拡大商談会、2月27日(木)の首都圏販路拡大商談会を行う事前のセミナーとして開催しました。

初めに有限会社食品環境研究センター 代表取締役 新蔵 登喜男氏より「売り場が求める食品安全管理の実際について」の説明をいただき、続いて、兵庫県立大学大学院 経営研究科 客員教授 勝瀬 典雄氏より「全国のバイヤーに通用する商談シートのまとめ方」の説明をいただきました。事前セミナー後には個別相談も実施しました。

参加事業者は、大手流通のバイヤーにアピールするための品質管理や商談シートというポイントについて、ブラッシュアップを行い、商談成功率アップを図りました。



新蔵 登喜男氏による売り場が求める
食品安全管理についての説明



勝瀬 典雄氏による全国のバイヤーに通用する
商談シートのまとめ方の説明

平成25年度レディース中央会全国フォーラム in鳥取へ参加

平成25年度レディース中央会全国フォーラムin福島が、去る10月23日(水)に全国の女性経営者等約310名が参加し、鳥取県西伯郡伯耆町「大山ロイヤルホテル」において開催され、本県女性部からは安藤喜代子会長のほか事務局を含め10名が参加しました。

鶴田欣也全国中小企業団体中央会会長、平賀ノブ全国レディース中央会会長が主催者を代表して挨拶を行った後、基調講演として「いつまでも若々しく、健康であるために」と題し、ハーブ研究家、英会話学校経営者のベニシア・スタンリー・スミス氏の講演が行われました。

フォーラム終了後、交流パーティーが和やかな雰囲気の中で行われ、参加者同士が交流を深めました。

翌日の24日(木)には鳥取県金属熱処理協業組合を視察しました。同組合は各部署を全員が持ち回りで担当するなどし、従業員全員が全ての行程を担当できる体制がとられています。



全国フォーラムの様子



鳥取県金属熱処理協業組合視察風景

石川のこだわり商品フェア2013が開催

～本会支援の7社等が出展～

今年で3回目となる「石川のこだわり商品フェア2013（石川県産業創出支援機構主催）」が10月31日～11月4日の5日間、香林坊大和において開催され、会場には県内の中小企業59社の材料や製法等に「こだわり」をもって開発した商品が一堂に会し、PR・販売が行われました。

本会が支援した「金沢市販路拡大調査研究会」「金沢イタリアンシェフオーナーズクラブ」、「石川県茶商工業協同組合」、「野々市農業協同組合」、「こまつイ草拡大プロジェクト」、「有限会社シャルドン」、「やちや酒造株式会社」などのブースも出展され、大盛況のうちに終了しました。



山出会長（一番右）も参加したオープニングのテープカット



こまつイ草拡大プロジェクトの“脚付き畳”

組合青年部全国代表者会議、 組合青年部全国講習会（三重県）へ参加

11月8日（金）、平成25年度組合青年部全国代表者会議並びに組合青年部全国講習会が三重県四日市市のじばさん三重において（全国講習会は四日市都ホテル）開催され、青年中央会の直江潤一郎会長、室栄司理事、南太郎理事と事務局の2名が参加しました。

全国代表者会議には各都道府県青年中央会の代表者が出席し、各ブロックから選ばれた県の青年中央会活動事例を発表し、他県役員等が審査を行いました。

引き続き開催された全国講習会では、井村屋株式会社 代表取締役会長 浅田剛夫氏が「特色経営のあゆみ」と題した講演が行われ、「人の真似をしない、海外に目を向ける、常に特色は何かを意識し続ける」など独自の経営理論について述べられました。

続いて、ワールド・カフェ方式ディスカッションを「青年部に入って良かったなと思う事はなんですか？」をテーマに行われました。参加者同士より多くの人と交流が図れる「大名刺交換会」となり、その後の懇親会を含め、大変良い交流の場となりました。



全国代表者会議の様子



井村屋株式会社 代表取締役会長
浅田剛夫氏による講演

平成25年11月6日(水) / 北國新聞朝刊掲載

婚礼とエステで連携

～ビジネスモデル構築～

金澤ウェディング協同組合・
石川エステティック協同組合

金澤ウェディング協同組合と石川エステティック協同組合は、ブライダルエステ事業で連携する。ウェディング協同組合が提案する婚礼プランの中で、エステ協組の加盟サロンによる美肌、痩身などの施術を商品化する。地元中小事業者による協力体制の構築を図る。

テを希望する顧客をエステ協組へあっせんするほか、ホームページで互いに紹介し合って信頼性をアピールする。エステ協組は効果的なブライダルエステを商品化し、施術に関心を持つ潜在顧客にはウェディング協

組の婚礼プランを紹介する。石川県中小企業団体中央会が連携を支援した。両組織は従業員教育や経営研修でも協力し、サービス向上や経営強化を目指すとしている。

平成25年11月6日(水) / 北國新聞朝刊掲載

飛べ 九谷のチョウ

～60周年で陶板制作～ 九谷上絵協同組合

九谷上絵協同組合(能美市)は5日、組合設立60周年を記念し、色とりどりの上絵を施したチョウの陶板100枚を完成させた。組合員30人が参加し、九谷焼の生命とされる加飾の美を磨く意気込みを示している。組合では住まいの壁面を彩るアクセサリーとしての商品化も視野に入れている。

クタニは、いずれも上絵の美が評価され、多くの人々を魅了した歴史がある。組合は1953年(昭和28年)に発足。チョウの陶板は未来に向けて、九谷の上絵が美しく羽ばたく姿をイメージして、今春から制作を進めていた。陶板は縦横15センチと縦横12センチの2種類があり、赤絵細描や花詰めなど幕末、明治から使われている図柄を

はじめ、釉裏金彩、釉裏銀彩など戦後に開拓された技法も豊富に盛り込んでいる。山田晃理事長は「九谷が磨いてきた上絵を生かし、現代の住空間を華やかにする商品開発を検討していきたい」と話した。

平成25年11月13日(水) / 北國新聞朝刊掲載

ユズ+シヨウガでお酒

～地元女性会と共同開発～ いしかわりキュール研究会・かたくり会

石川県内酒販店と酒造メーカーでつくる「いしかわりキュール研究会」は、金沢市湯涌地区で栽培したユズとシヨウガを使ったリキュール開発を進めている。香り高いユズと体を温めるとされるシヨウガで女性に好まれる風味を目指し、湯涌温泉の新たな特産品として来年1月に発売する。

わもんリキュール」で旅館の宿泊客らをもてなそうと企画した。県中小企業団体中央会が支援した。J A 金沢市との農商工連携で湯涌産のユズと同市大桑産のシヨウガを安定確保できる見通しとなり、商品化のめどが立った。来年1月には約2千本を売り出す予定。同研究会には宮下酒店、ふじた酒店、カガヤ酒店、酒の大沢、やちや酒造(以上金沢市)、お酒倶楽部くぼ(加賀市)、みなみ酒店(小松市)が参加している。

平成25年11月16日(土) / 北國新聞朝刊掲載

共通商品券発行

98店で利用可能

のみ商業協同組合

のみ商業協同組合(能美市)は18日から、市内の組合加盟98店で利用できる共通商品券を発行する。辰口、寺井、根上の旧3町の枠を超えて9月に発足した同組合初の合同事業。県中小企業団体中央会によると南加賀唯一の共通商品券発行となり、小規模店舗の振興を目指す。

商品券は千円券と500円券の2種類で、使用期限は設けない。同組合寺井、根上事務所で販売する。12月15日からは年末年始の商戦向けに1万円と1万円半の買物ができるプレミアム商品券も販売する。中尾敏弘代表理事は「贈

答用や町内会の行事での景品に使ってほしい」と話した。寺井地区の旧ナインバーレー商店連盟のアゼレア商品券も18日から市内全域で利用できるようになる。

平成25年11月20日(水)
北國新聞朝刊掲載

諸江町小児童が 箔押しを体験

金沢仏壇商工業協同組合

金沢仏壇商工業協同組合の体験教室は19日、諸江町小で開かれ、4年生131人が箔金を貼り付ける箔押しに挑戦した。塗師岡頭治理事長ら組合員10人が、金沢仏壇の歴史や制作工程などを説明した。児童は黒い平皿にテープで星や花などの模様を描き、竹製の端を使って丁寧に箔金をかぶせた。

平成25年11月26日(火) / 北國新聞朝刊掲載

夕日寺と伏見台に

野球用具を贈呈

金沢維持管理協同組合

金沢維持管理協同組合の野球用具贈呈式は24日、夕日寺小グラウンドで行われ、市学童野球連盟に所属

する夕日寺クラブと伏見台ファイターズにバットやボールなどが贈られた。組合の平本健治理事長、顧問の紐野義昭県議があい

さつした。顧問の野本正人、夕日寺クラブの9期生の高誠尚市議が来賓として出席した。平本理事長と紐野県議がバット1本とボール3ダース、バッティング練習用のネットを各チームの児童に手渡した。同組合は児童育成応援活動の一環として、2009年から野球用具を送る活動に取り組んでいる。

平成25年11月28日(木) /
北國新聞朝刊掲載

接客磨く研修

金沢市旅館ホテル協同組合

市旅館ホテル協同組合の「おもてなしマインド&スキルアップ研修・基礎編」は27日、ITビジネスプラザ武蔵で開かれ、ホテルや旅館の新人従業員ら10人が接客を磨いた。全国でビジネススマナーや接客スキルアップなどの研修を行う西村美穂さんが講師を務め、身だしなみや表情、話し方などの大切さを説明した。

平成25年12月2日(月) / 北國新聞朝刊掲載

薦掛け体験愛着深めて

長町武家屋敷

石川県造園業協同組合

金沢の冬の風物詩である薦掛け作業の一般向け体験会は1日、長町武家屋敷跡で始まった。藩政期から

受けた職人が作業に当たっており、高さ95センチ、幅3・6メートルの薦を土塀の腕木に縄でつるす。

に愛着を深めてもらおうと市が初めて企画し、市民や観光客が参加。手際よく作業する職人の技を間近で学び、凍害などから土塀を守る伝統と知恵を体験した。

長町武家屋敷跡では市が1986年から薦掛け作業を実施している。毎年この時期に市の委託を

んは「職人さんは手早く作るから簡単かと思っただけで、難しかった。なじみのある風物詩を体験できた」と笑顔で話した。

1日は県造園業協同組合と金沢職人大学の20人が薦掛け作業に当たり、老舗記念館横の広場に体験会のブースが設けられた。参加者は職人の手ほどきを受けながら、薦と青竹をわらでつなぐ「男結び」に挑戦。男結びが力を入れずに締めることができ、ほごきやすいことも学んだ。

武家屋敷跡周辺では、今冬、新調した65枚を含む約450枚を掛け、土塀約1043メートルで冬仕度が整う。体験会は2日も開かれる。県造園業協同組合の近藤保夫事務局長は「見るだけでも楽しむことができ、体験することで金沢への思いが強まったと思う。伝統の魅力が伝わるとうれしい」と話した。

昔から薦掛けを身近に見てきたという島かね子さ

平成25年12月6日(金) / 北國新聞朝刊掲載

能登ふぐ白子

ジェラートに

七尾土産に開発

能登ふぐ事業協同組合

能登ふぐ事業協同組合が、七尾湾など能登沿岸で捕れる「能登ふぐ」の加工品開発に力を入れている。5日までに、白子を練り込んだジェラートを完成させたほか、冷凍のふぐ鍋セットや刺し身、空揚げなども検討している。北陸新幹線

るすぎ省水産(七尾市)がマルガージェラート(能登町)の協力を得て開発した。

金沢開業を見据えて七尾土産として売り込み、能登ふぐの消費拡大を目指す。白子のジェラートは、ゴマフグの白子を奥能登産の牛乳などに混ぜて作った冷菓で、バナナのような風味に仕上げた。組合に加盟す

道。駅のとしまで販売するほか、市内外の土産売り場での販売や飲食店での提供を提案していく。

同社によると、春の産卵時期を過ぎると小さくなり、商品価値が下がる白子を活用する。90ミリリットル入りで420円。

杉原省代表理事は「加工品をどんどん開発し、県外客に能登ふぐの魅力を広げてもらいたい」としている。

組合運営 Q&A

白紙委任状について

Q 組合又は理事長あてに提出された白紙委任状は、理事長に代理人の選定を一任したものと解される旨解釈されているが、

- (1) 理事長が単独で代理人の選定をするということは、自己に都合の良い者を選べるという弊害があるが、この点どのように考えるか。
- (2) 白紙委任状は、そのままでは無効であり、必ず代理人の氏名が記されておることが必要であるとすれば、議案審議に入るまでに代理人を決め、有効ならしめておくことが必要と考えられるがどうか。
- (3) 代理人のない委任状は無効であるということは、出席者数にも算入されないものと解してよいか。

A 白紙委任状と呼ばれるものはご承知のとおり受任者となる人を特定せずに、委任状作成者が、記載の一定事務の処理及びそれに要する代理権授与の申込をなし、これの取得者が白紙の部分に受任者として自己の名を記入することによって両者間に契約が成立し、受任者としての権利義務と代理権を取得するもので、この時に委任状としての効力を発するものである。白紙委任状には種々の種類があるが、通常は、総会に出席しない組合員が議決権を行使すべき代理人を白紙にして組合に送るものである。

すなわち、組合が組合員に対して総会招集の通知と共に議決権及び選挙権代理行使の委任状用紙を送付し、その代理権の授与を勧誘するものであって、これは一種の慣行として一般会社等でも行われているものである。

- (1) したがって、理事長が単独で自己の有利な代理人を選定することは有り得るわけであるが、代理権自体の行使についても中協法11条第2～第6項に制限規定が設けられているのでこの点からも若干の弊害は防ぎ得るものである。
- (2) 前述の説明によっておわかりのように、白紙の箇所が補充されて初めて委任状としての効力を発するものであるから、当然代理権を行使するものの氏名が記入されていなければならぬ。委任状作成者（受任者）の意思を尊重する意味からも議案審議までに完全なる委任状となし、議決権を行使させることが望ましい。勿論、代理人の決定は議決権の時までになされれば有効である。
- (3) 代理人の記入のない委任状は、未だ委任状としての効力を発していないので（無効と異なる）議決権のないのは、勿論、中協法第11条第4項の反対解釈からしても出席者数には算入されないものと解してよい。

白紙委任状の行使について

Q (1) 白紙委任状行使の権限は議長にあるか、理事長にあるか。
(2) 白紙委任状の行使を特定の組合員に分割して依頼することの可否。

A (1) 総会の議長は、議決権を有せず、議事の進行、採決等を行うのみである。一方理事長は、総会の開催、議案の提出、議決権の確認その他総会に関する全般的責任をもつ。

したがって、白紙委任状行使の権限は、議長にはなく理事長にある。

- (2) 白紙委任状行使の権限は理事長にあるが、1代理人の代理し得る議決権の数には限度があるので、特定の組合員に分割してその行使を依頼することは必要であり適法と考える。

「全国中小企業団体中央会編 中小企業組合質疑応答集 第7版発行」より転載。

Pick up ! 全国の先進組合事例

＝組合資料収集加工事業
報告書より＝

地域資源の活用	飼肥の国プレカット協同組合
	飼肥杉プレカット加工体制の確立と市場開拓

宮崎県産材飼肥杉の需要拡大を目指し、プレカット加工システムを構築。高付加価値の加工木製品の製造と国内外の市場拡大を図る。

住所 〒889-2311 宮崎県日南市大字伊比井2895番地 1
 URL <http://home.miyazaki-cci.or.jp/obinokuni-purekatto/>
 TEL 0987-21-6056 FAX 0987-29-1656 設立 平成17年 5 月 出資金 41,000千円
 組織形態 共同工場組合 地区 日南市、他 3 市 主な業種 製材業
 組合員 5 人 組合専従者 19人

背景と目的

住宅建築市場は、プレカット木材が需要に最適で中心的な製品となりつつあることから、プレカット工場自体が建築材の加工及び流通の拠点となってきている。この市場構築に対応するために、日南地区の飼肥杉加工企業 4 社が結集して、当組合を設立し、生産工場の運営及び飼肥杉建築材の流通拠点としての事業活動を推進することになった。

事業・活動の内容

組合員の工場を統合し建設した生産工場では、木造住宅の構造部材とその他の部材をコンピューター制御の加工機械で精確な部材加工をし、顧客に届けている。工場より出た端材や「オガクズ」は、木材を蒸気乾燥する燃料として再利用し、自然と環境に配慮した最新の工場となっている。

また、経営、技術の改善向上及び情報の収集については、組合員全員参加で検討と共有し、実行案の策定が行われており、直面するさまざまな経営課題への対応が遅滞なく、効率的に行われている。

成果

平成17年設立以来、主要業務のプレカット加工事業において每期目標売上高及び目標坪数をクリアして当初の計画は順調に推移している。今後の課題とされているプレカット工程での生産性の向上及び新しい木造建築資材の市場開拓の 2 点については、3次元CADの導入による生産性向上と、ベトナム等の東南アジアへの木造建築の市場開拓等、具体的な課題解決に向けて努力を続けている。

Pick up !

全国の先進組合事例

＝組合資料収集加工事業
報告書より＝

ソーシャル
ビジネス

健軍商店街振興組合

人に優しく地域に愛されるショッピングモール

医療関係団体と商業の連携（医商連携）により「熟年者や障がい者も健常者と同時に安心して暮らせる」モデル性の高いまちづくりと子育て支援に取り組んでいる。

住所 〒862-0903 熊本県熊本市東区若葉1丁目35-18

URL <http://www.piacres.net/index.html>

TEL 096-368-7312 FAX 096-368-7312

設立 昭和38年7月 出資金 33,026千円

組織形態 商店街振興組合

地区 熊本市東区若葉1丁目2番地ほか

主な業種 小売業、サービス業

組合員 57人

組合専従者 2人

背景と目的

商店街利用客の高齢化が進みつつあることにより、商店街利用客のニーズとして安心して買い物ができる、人にやさしい商店街・まちづくりの要望が多くなり、平成15年に商店街ビジョンとして「人に優しく地域に愛されるショッピングモール」をテーマとした商店街づくりの方針を策定した。中心商店街の停滞・衰退に歯止めをかけ、商店街がより一層生活者と密接な関係を築き、地域の一員としての役割を担い発展させて行くため、心身の健康交流という視点から生活サービスの充実を図り、明るく・いきいきと暮らせる「顔の見える」安心・安全なまちづくりに取り組んでいる。

事業・活動の内容

事業プロジェクトとして「医療・福祉・子育て機関との連携（医商連携）による次世代型まちづくり委員会」（委員19人）を平成21年に立ち上げ、年3回開催している。

また、中小商業活力向上事業及び商店街活性化特別支援事業（商店街活性化モデル事業）を活用し、地域の医療・福祉関連団体等と連携した組織づくりや活動拠点としての商店街内の空き店舗を活用した街なか図書室「よって館ね」を同年10月にオープン。健康・福祉・子育て等の情報提供や便利グッズのリユース（再利用）、血圧や体脂肪の測定、健康・栄養相談、健康などに関する商品の展示や関連する本の貸出しなどを行い、地域における自己健康管理の啓発やコミュニケーションの場の提供を行っている。

成果

通行量調査では、平日の来街者通行量が前年比12～17%増加し、商店街に来る目的の多様化、商店街を歩く楽しさが増えたとの来街者の声も多く聞かれるなど、来街者と各店舗とのコミュニケーションなどの密着度（コミュニティ度）も増加している。また、地域のことを考えてくれている商店街として近隣住民が新たに認識する大きなきっかけともなっている。

一方、組合・組合員においては当事業の取組みにより、店舗としての提供者視点だけでなく、消費者視点及び市民感覚での商店街の役割について再認識し、組合員による商店街に対する提言も増加。今後の医商連携の仕組みを活かした各個店と商店街が一体となった商品企画、イベント・催事企画など、消費者提案型の商店街として大いに期待できる。

平成26年度石川県中央会会長表彰並びに 石川県知事表彰に係る被表彰候補者の推薦について

本会では毎年通常総会において、永年にわたり組合運営に携わってこられた功績顕著な役職員の方々を表彰いたしております。また、石川県知事表彰につきましても本会を通じて推薦することといたしております。

会員組合に対しましては12月6日付けの文書でご案内いたしております。

表彰基準に該当される方につきましては、**1月27日(月)まで**にご推薦いただきますようお願いいたします。

[表彰基準 (簡略版)]

	石川県知事表彰	中央会会長表彰
組 合 功 労 者	・ 組合役員歴が通算15年以上 (現職理事長は10年以上) ・ 中央会会長表彰を受賞	・ 組合役員歴が通算10年以上
優 良 専 従 職 員	・ 組合の勤務歴が満20年以上 ・ 中央会会長表彰を受賞	・ 組合の勤務歴が満10年以上

※ 詳細につきましては、先にお送りしてあります表彰基準及び留意事項でご確認下さい。

また、お問い合わせは本会 **総務課 (代表) 076-267-7711** までお願いします。

個別専門相談室開催のご案内

本会では、中小企業が正確な経営情報を獲得し、適切な経営判断を支援するため、組合、中小企業任意グループ及び公益法人等を対象とし、専門家を招聘し、事業運営等の相談に応ずることを目的とした個別専門相談室(無料)を設けておりますのでお気軽にご相談下さい。

相談は予約制(30分ごと)のため、希望の方は当日までに本会へご連絡願います。また、予約多数の場合は、相談時間の短縮をお願いする場合がありますので予めご了承下さい。

*** 連絡先 総務課 TEL 076-267-7711**

《日 程》

開 催 日	時 間	内 容	専 門 相 談 員
1月24日(金)	10:00~12:00 13:00~15:00	税 務・ 経 営 相 談 法 律 相 談	税 理 士 坂井 昭衛 弁 護 士 久保 雅史
2月20日(木)	10:00~12:00 13:00~15:00	税 務・ 経 営 相 談 法 律 相 談	税 理 士 坂井 昭衛 弁 護 士 久保 雅史
3月20日(木)	10:00~12:00 13:00~15:00	税 務・ 経 営 相 談 法 律 相 談	税 理 士 坂井 昭衛 弁 護 士 久保 雅史

《場 所》

金沢市鞍月2丁目20番地

石川県地場産業振興センター新館5階 石川県中小企業団体中央会 会議室

県内の情報連絡員報告

平成25年

11月

- 平成25年11月期において、DI値で見ると、昨年同月比をもとに前月との増減を比べた場合、6項目が改善し、主要3項目（売上高・収益状況・業界の景況）も二桁の伸びを示していることから、回復基調が一層強まったと言える。なお、この基調は、製造業と非製造業で共に見られた。
- 製造業においては、6項目で改善を示し、売上高と業界の景況は二桁の伸びを示していた。その要因としては、駆け込み需要で住宅着工が増えている木材・木製品製造業、建設機械の需要増から鉄鋼・金属工業、公共事業・新幹線工事の増加から窯業・土石製品製造業、中国向け繊維機械部品が先月から引き続き好調であったことが挙げられる。加えて、繊維機械ではタオルや建設資材等の国内需要、鉄鋼・金属工業ではインフラ関連の需要が増えたことも寄与している。一方、個人消費に依存する部分の大きい、食料品製造業、伝統産業は低調な水準にあり、未だ個人消費の盛り上がりには欠けているようである。
- 非製造業においては、4項目で改善、3項目で横這い、1項目で悪化という結果であるが、主要3項目が改善していることに加え、売上高と収益状況の伸びが大きいことから、数値的には低い水準にあるものの、回復傾向にあると言える。その要因は、住宅着工と公共事業の増加で好調な建設業に加え、販促活動が功を奏し白物家電が好調な電器小売業、紅葉シーズンとインバウンド需要に支えられた旅館・ホテル業、観光客も戻ってきて全体的に人手が増えている商店街が好調であったからだと考えられる。一方、カニが解禁となったものの、天候不順による不漁で、水産物卸売業・小売業は振るわなかった模様である。
- アベノミクスの評価については、全業種では「評価していない」は1割強と少数に留まるものの、「どちらでもない」が約6割弱と多いことから、県内の事業者が事業の好転を実感できる程、アベノミクスによる経済環境の好転は及んでいないようである。製造業では、全業種と比べて、「評価している」の割合が38.1%と多く、「どちらでもない」が47.6%と少なかった。「評価している」と答えた理由は“円安”や“事業環境の好転”から「輸出の増加」や「受注の増加」といったものと、「成長戦略が事業活動に好影響をもたらしそう」という来年に期待を寄せている声が聞かれた。「どちらでもない」の理由は、「受注は増加したが原材料の高止まりが止まらない」、「個人消費や大企業は良くなっているが、当業界・自社まで波及してこない」というものであった。非製造業では、「どちらでもない」の割合が66.7%と多く、「評価している」が19.0%と少なかった。「どちらでもない」の理由は、「個人消費は上向いても当業界にまで波及してこない」、「受注は増加したが原材料の高止まりが止まらない」といったものであった。また、割合は低かったが「評価している」の理由は「個人消費の増加」「住宅着工数の増加」であった。

平成25年

11月期 景況天気図

前年同月比

	全 体	製造業	非製造業
売上高	36.2 (15.5)	51.6 (12.9)	18.5 (18.5)
在庫数量	-4.3 (0.0)	-3.2 (0.0)	-6.3 (0.0)
販売価格	0.0 (-1.7)	6.5 (-3.2)	-7.4 (0.0)
取引条件	-6.9 (-5.2)	-3.2 (-6.4)	-11.1 (-3.7)
収益状況	1.7 (12.0)	-3.2 (6.5)	7.4 (18.5)
資金繰り	0.0 (8.6)	6.5 (3.3)	-7.4 (14.8)
設備操業度	29.0 (9.6)	29.0 (9.6)	-
雇用人員	6.9 (3.5)	19.4 (6.5)	-7.4 (0.0)
業界の景況	10.3 (10.3)	25.8 (16.1)	-7.4 (3.7)

※ () 内の数字は前月とのポイント差

全体の景況感

※主要3項目（売上高・収益状況・業界の景況）の平均値



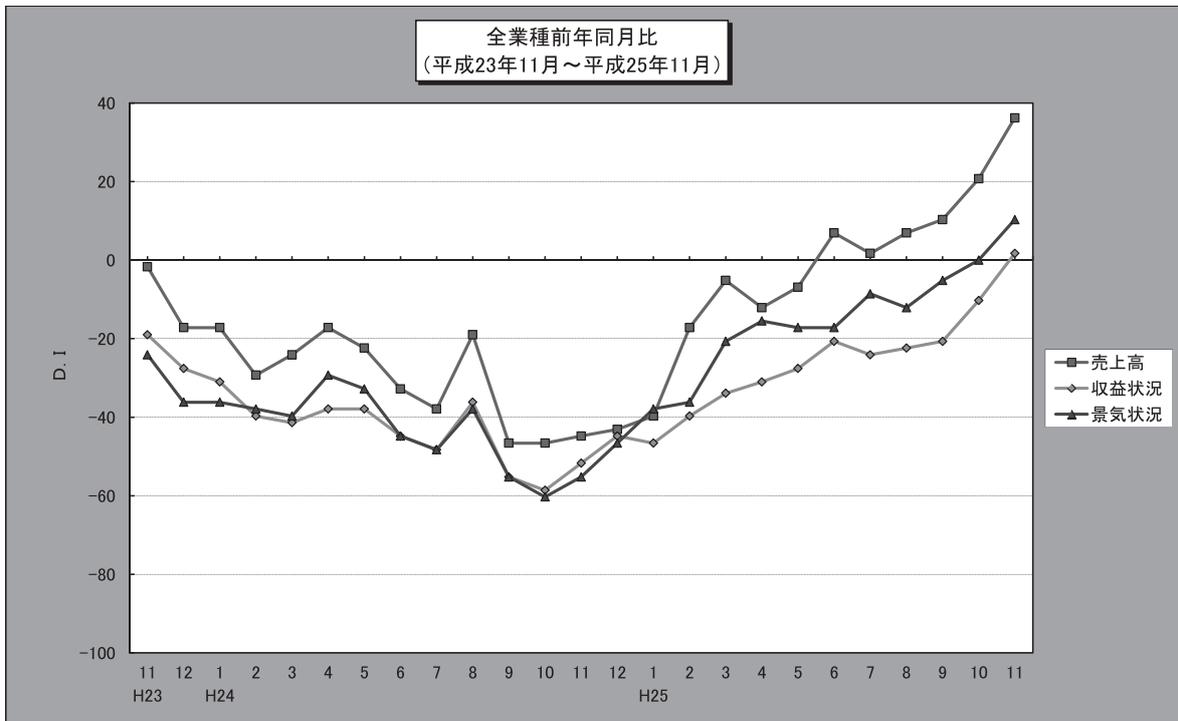
くもり
14.9

天気図の見方

各景況項目について「増加」（又は「好転）」との回答を頂いた業種割合から「減少」（又は「悪化）」との回答を頂いた業種割合を引いた値をもとに作成しました。その基準は次の通りです。

快晴 25以上	晴れ 10~25 未満	くもり 10未満~ -10未満	雨 -10~ -25未満	大雨 -25以下
------------	-------------------	-----------------------	--------------------	-------------

景況の推移（前年同月比）石川県分（主要3項目）



事業主の皆様へ

お知らせ

「障害者雇用納付金制度」の対象事業主が拡大されます

～平成27年4月から、常時雇用している労働者数が100人を超える事業主が対象になります～

平成20年に障害者雇用促進法改正法(※)が成立し、障害者雇用納付金制度の対象事業主が**段階的に拡大**されています。

※障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律(平成20年法律第96号)

改正の目的

中小企業における障害者雇用状況の改善が遅れており、地域の身近な雇用の場である中小企業の障害者雇用の促進を図る必要がある。

適用対象になると

平成28年4月から、前年度(平成28年度は、平成27年4月から平成28年3月まで)の雇用障害者数をもとに、

- 納付金の申告を行っていただきます。
- 障害者の法定雇用率を下回る場合は、納付金の納付が必要となります。
- 障害者の法定雇用率を上回る場合は、調整金の支給申請ができます。

※年度(27年4月～28年3月)の途中で事業廃止した場合(吸収合併等含む)は、廃止した日から45日以内に申告・申請が必要です。

今後のスケジュール

	平成25年4月 ～平成26年3月	平成26年4月 ～平成27年3月	平成27年4月 ～平成28年3月	平成28年4月～
適用対象となる事業主の範囲	常時雇用する労働者数が200人を超える事業主		常時雇用する労働者数が100人を超える事業主	
				申告・納付開始



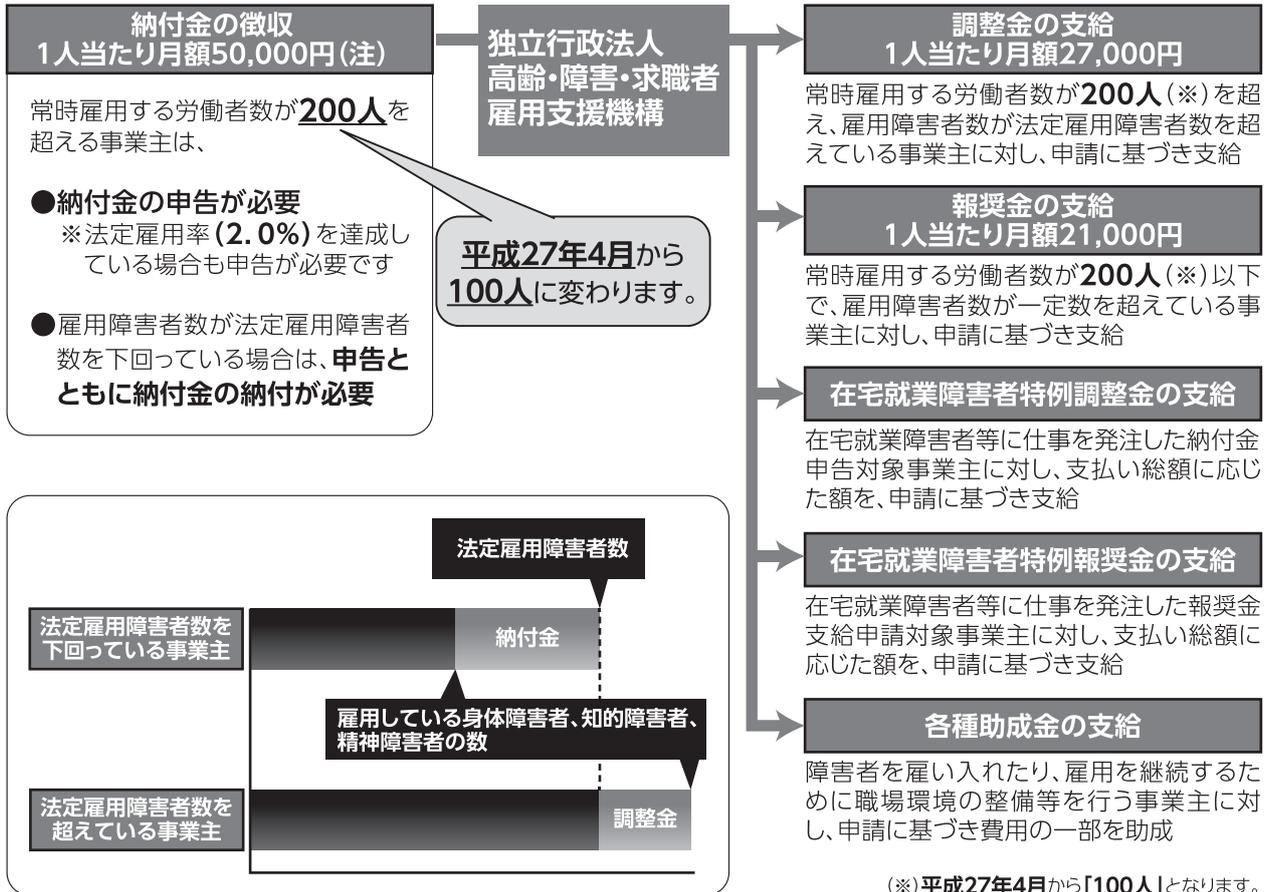
障害者雇用の取組み等、早めの準備をお願いいたします。
障害者雇用の取組みについてのお問い合わせ先については、P30をご確認ください。

メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html>

障害者雇用納付金制度とは

障害者の雇用に伴う事業主の経済的負担の調整を図るとともに、全体としての障害者の雇用水準を引き上げることを目的に、障害者雇用納付金(「納付金」)の徴収、障害者雇用調整金(「調整金」)、報奨金、各種の助成金の支給を行う制度です。

障害者雇用納付金制度の概要



(※)平成27年4月から「100人」となります。

○常時雇用する労働者数が200人を超え300人以下の事業主は、平成22年7月1日から平成27年6月30日まで
(注) ○常時雇用する労働者数が100人を超え200人以下の事業主は、平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
納付金の額が1人当たり月額「5万円」から「4万円」に減額されます。

お問い合わせ先

- 障害者雇用に関して相談したい。職業紹介を行ってほしい。
・管轄の公共職業安定所(ハローワーク)にお問合せください。
- 障害者雇用納付金制度の詳細、各種助成金について知りたい
・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構ホームページ(<http://www.jeed.or.jp/>)をご覧くださいか、
・最寄りの高齢・障害者雇用支援センターにお問合せください。
※高齢・障害者雇用支援センターは、障害者職業センターの一部門です。
- 障害者雇用の具体的な進め方などを相談したい
・最寄りの障害者職業センターにお問合せください。
※障害者雇用を検討しておられる事業主や、すでに障害者を雇用しておられる事業主の支援ニーズに応じて、採用計画立案から雇用管理に至るまで体系的な支援を行っています。

税務署からのお知らせ ～申告相談会場は平成26年2月3日から！～

税務署の申告相談会場の開設日は、平成26年2月3日(月)です。税務署において確定申告の相談を希望される方は、開設日以降にお越しいただきますようお願いいたします。

1月31日(金)以前に、確定申告の相談を希望される方は、税務署において相談することができますが、限られた職員で対応しておりますので、お待ちいただく場合があります。

なお、税務署の申告相談会場の受付時間は、午前9時から午後4時です。混雑が予想されますので、お早めにお越しいただきますようお願いいたします。

<申告相談会場を利用される方へ>

税務署ではe-Tax(国税電子申告・納税システム)及び国税庁ホームページの「確定申告等作成コーナー」の利用を推進しています。

税務署の申告相談会場においても、e-Tax等を体験していただくため、パソコン(e-Tax)への申告書等(データ)の入力は、原則として、来署された皆様方をお願いしております。ご不明な点について、税務署の職員がワンポイントアドバイスをさせていただき体制となっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

平成25年工業統計調査を実施します

- 平成25年工業統計調査は、従業員4人以上の全ての製造事業所を対象に、25年12月31日時点で実施します。
- 工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として活用されます。
- 調査票に御記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することは絶対にありません。
- 調査の趣旨・必要性を御理解いただき、御回答をよろしく願いいたします。

経済産業省・都道府県・市区町村

平成25年度第2回

下請法クイズ



公正取引委員会では、下請法を運用することによって、親事業者と下請事業者との間の取引の公正化に努めているよ！

前回のクイズで少し分かったけど、まだまだ法律には色々なことが書いてあるよ。どうすれば良いかな・・・。



大丈夫！第2回の下請法クイズがあるから、チャレンジしてみてね♪
今回も、ステップ1（下請法の適用範囲）、ステップ2（親事業者の義務）、ステップ3（親事業者の禁止事項）の3つに分かれているよ。
下請法について、もっと詳しくなろう！

【ステップ1】 次の取引のうち、下請法の適用があるものには○を、そうでないものには×を付けてください。

- 1：インテリア製品を販売するA社（資本金3億円）が、無料で消費者に配布するカタログを自社では印刷できないため、B社（資本金500万円）に対してその印刷を委託した。
- 2：自動車の修理を請け負っているC社（資本金8000万円）が、D社（資本金2000万円）に対して、自動車の钣金修理を委託した。
- 3：家電製品の製造・販売を行っているE社（資本金8億円）が、F社（資本金3000万円）に対して自社で販売する家電製品に内蔵されている制御プログラムの作成を委託した。
- 4：住宅の建設を請け負っているG社（資本金4億円）が、H社（資本金5000万円）に対して住宅の配管工事を委託した。

【ステップ2】 次の親事業者の行為のうち、下請法に照らして問題とならない行為には○を、そうでないものには×を付けてください。

- 1：下請事業者との間で下請代金の支払方法を記載した取引基本契約書を締結しており、また、お互いに委託内容は口頭で合意しているので注文書を交付していない。
- 2：発注時に単価を決めることのできない正当な理由があって仮単価で発注したところ、その後、正式に決まった単価を下請事業者に口頭で伝えた。
- 3：下請取引の内容等を記録した電子的記録を作成・保存することにより、下請法の書類の作成保存義務（第5条）を果たしている。

【ステップ3】 次の親事業者の行為のうち、下請法に照らして問題とならない行為には○を、そうでないものには×を付けてください。

- 1：下請事業者に対して船舶の修理を委託しているが、毎月末日納品締切、翌月末日支払の支払制度としていたところ、ある月の支払日が金融機関の休業日である土曜日に当たったため、あらかじめ下請事業者と書面で合意を得た上で、翌営業日である月曜日に順延して下請代金を支払った。
- 2：下請事業者に対して工作機械の設計図面の作成を委託しているが、取引先から製品代金を減額されたことから、下請事業者と交渉し、合意を得た上で発注時の下請代金の額から減じて支払った。
- 3：下請事業者に対して自社ブランドの食料品の製造を委託しているが、自社の店舗で商品の入替えを行うことから、下請事業者に対して在庫品を引き取らせた。
- 4：下請事業者に対してカーテン・寝具等の製造を委託しているが、下請代金の支払の際に下請事業者に対して手形期間が90日の手形を交付した。

〈回答〉

【ステップ1】の回答：1→×、2→×、3→○、4→× 【ステップ2】の回答：1→×、2→×、3→○

【ステップ3】の回答：1→○、2→×、3→×、4→○



公正取引委員会では、下請法に関するパンフレットやテキストの作成や講習会の開催もしています。また、下請法に関する相談も受け付けていますので、いつでも下記の連絡先までお問い合わせください。

公正取引委員会事務総局中部事務所 下請課
電話 052-961-9424（直通） FAX 052-971-5003
ホームページ <http://www.jftc/go.jp>

ご利用下さい「信用保証制度」



ご負担は保証料のみ
—相談料・用紙代金など一切不要—

- ◎経営状況に応じたきめ細かい保証料率で資金調達を応援
- ◎法人代表者以外の保証人は原則不要
- ◎資金ニーズにあった保証制度をご用意
- ◎流動資産を担保に資金運用を効率化
- ◎セーフティネット保証も充実
- ◎長期借入れや反復継続の信用保証も可能
- ◎団体信用生命保険制度によるプラスワンサービス

活用しやすい7つの特長

 石川県信用保証協会

◇保証部◇

〒920-0918 金沢市尾山町9番25号

TEL (076) 222-1522 (代) FAX (076) 222-1514

ホームページアドレス <http://www.cgc-ishikawa.or.jp/>

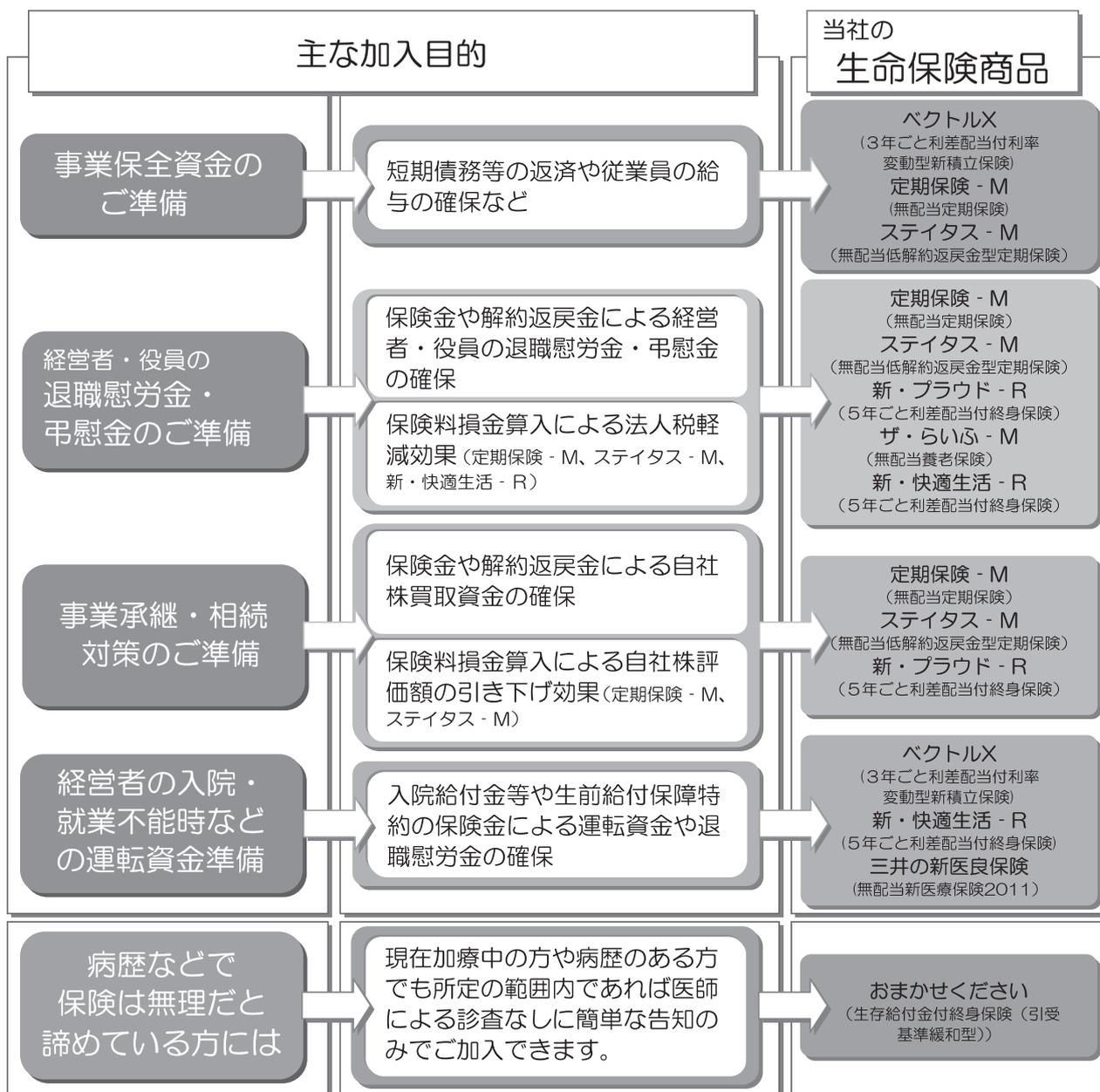
石川県中央会会員組合に所属する組合員の皆さまへ



法人向け生命保険のご案内

企業を取り巻くさまざまなリスクに対しては、目的に合った生命保険で準備することが必要です。

生命保険でのご準備は十分でしょうか？



*解約された場合、以後の保障はなくなります。

*詳しくは、「各商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」を必ずご覧ください。

【お問い合わせ】

三井生命保険株式会社 北陸支社

〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 ボルテ金沢 8F
TEL: 076-263-3256

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

Ishikawa
IT
Human Resource Development
Center

「持続的なイノベーション」を支える中核的人材の育成を目指す

株式会社 石川県IT総合人材育成センター



「いしかわビジネススクール」、「いしかわ技術経営(MOT)スクール」、情報技術に関連する研修講座を開講。研修講座の総合化と中核人材の育成に力点をおいた研修サービス、受託研修サービスなどをご提供します。

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地

TEL:076-267-8000 FAX:076-268-8570

<http://www.ishikawa-sc.co.jp>

情包通心。

社会を包み支え、心通うソリューションを。

ライフラインや行政・教育などあらゆるシーンで
唯一無二の存在となった情報通信。
卓越したノウハウと技術が自慢のICCは、
今日も皆様の心に寄り添い、暮らしを包み支える
IT情報サービスを提供しています。

自治体
ソリューション

医療
ソリューション

民間
ソリューション

セキュリティ
ソリューション

アウトソーシング
サービス

ネットワーク
サービス

icc 株式会社
石川コンピュータ・センター

〒920-0398 金沢市無量寺町ハ6番地1号
TEL(076)268-8311(大代) FAX(076)268-5442
<http://www.icc.co.jp>

損害保険集団扱制度のご案内

★【自動車保険・火災保険】

石川県中小企業団体中央会では、組合員の企業経営並びに従業員の福利厚生を充実するため、会員の皆様に中央会損害保険集団扱制度(自動車保険・火災保険)のご加入をお勧めしております。つきましては、本制度について引受損害保険会社の取扱代理店が説明させて頂きたく、訪問した際にはよろしくお願いたします。

《損害保険集団扱制度の概要》

特 徴

- ◎保険料は、一般契約より5%割安です。(保険料一時払の場合)
- ◎手続きは、年1回払い、口座引落しです。
- ◎下記損害保険会社と契約を行っている方は、現在契約している取扱代理店で制度利用が出来ます。
- ◎自動車保険
 - ・既加入自動車保険は、無事故割引などをそのまま継承できます。
 - ・業務用車両も対象になります。
- ◎火災保険
 - ・普通火災、住宅火災、住宅総合、店舗総合、団地保険が対象となります。

対 象

(中央会指定の確認票を提出願います。)

- ◎中央会の会員(組合・企業・団体) ◎会員の傘下企業、事業主及び従業員

県中央会



お問合せ先

石川県中小企業団体中央会 TEL.076-267-7711

〈本制度引受損害保険会社〉

三井住友海上火災保険株式会社……………TEL.076-223-9912
金沢支店 〒920-0918 金沢市尾山町6番25号

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社……………TEL.076-264-7811
金沢支店 〒920-0906 金沢市十間町5番地

日本興亜損害保険株式会社……………TEL.076-222-8610
北陸支店営業第1課 〒920-0869 金沢市上堤町2番28号

富士火災海上保険株式会社……………TEL.076-222-0005
金沢支店 〒920-0962 金沢市広坂1丁目2番24号

(2014年1月作成)



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

石川県電気工事工業組合

理事長 米 沢 寛

〒921-8062 金沢市新保本4丁目65番地22 TEL (076) 269-7883

石川県建築工事協同組合

代表理事 河 村 松 一

〒920-0022 金沢市北安江4丁目15番15号
TEL (076) 262-4714 FAX (076) 262-4718

金沢市建築板金協同組合

理事長 高 田 武 夫

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 259-1389 FAX (076) 245-2218

数寄屋・城郭建築 等 古建築解体・修復・復原

金沢建築事業協同組合

代表理事 宮 本 修 一

〒920-0022 金沢市北安江4丁目15番15号(建設センター3階)
TEL (076) 263-2188 FAX (076) 263-2320

謹賀新年

石川県板金工業組合 石川県金属屋根協同組合

理事長 勝 泉 完 理事長 島 田 孝 二

金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-3050 FAX (076) 245-2218

石川県総合建設業協同組合

理事長 北 川 義 信

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 244-1554

頌 春



金 沢 建 設 業 協 同 組 合

理 事 長 鶴 山 庄 市

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)243-5868 FAX(076)242-4331
URL <http://www.kanazawa-kumiai.or.jp>

か ほ く 市 建 設 業 協 同 組 合

理 事 長 麿 香 敏 信

〒929-1215 かほく市高松△68番地2
TEL(076)282-5222 FAX(076)282-5220

石 川 県 鉄 骨 工 業 協 同 組 合

理 事 長 本 田 信 治

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号(石川県建設総合センター内)
TEL(076)244-1866 FAX(076)245-2882



中部経済産業局認定 官公需適格組合

小 松 管 工 事 協 同 組 合

理 事 長 湯 田 喜 久 男
外 組 合 員 一 同

〒923-0026 小松市下牧町丙ツ28番地 TEL(0761)21-0282 FAX(0761)22-7163

中部経済産業局認可
官公需適格組合

加 賀 管 工 事 協 同 組 合

代 表 理 事 川 本 久 範
外 組 合 員 一 同

〒922-0816 加賀市大聖寺東町1丁目20番地 TEL(0761)72-3717 FAX(0761)72-3720

石 川 県 造 園 業 協 同 組 合

理 事 長 谷 孝 一

事務局 〒921-8006 金沢市進和町13番地2(城西会館2階)
TEL(076)291-8360 FAX(076)291-3965
E-mail : isizoukumi@poem.ocn.ne.jp
<http://www.ishikawa-zouen.or.jp/>



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

石川県インテリア事業協同組合

理事長 宮本 外次

〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 244-0277 FAX (076) 244-1055

石川県鉄筋業協同組合

理事長 小寺 洋志裕

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地
TEL (076) 268-8965 FAX (076) 268-8966

石川県電機設備協同組合

理事長 上馬 定司

〒920-0376 金沢市福増町南1304番
TEL (076) 249-5297 FAX (076) 249-8485
E-mail:ishikawads@po6.nsk.ne.jp

石川県タイル煉瓦事業協同組合

理事長 輪崎 健司

〒920-1167 金沢市もりの里3丁目104番地
TEL (076) 222-7771 FAX (076) 223-6211

能登リサイクル協同組合

〒928-0326 鳳珠郡能登町字齊和の部3番地
TEL (0768) 76-8050 FAX (0768) 76-8051

金沢建物解体業協同組合

理事長 今村 照男

〒920-0856 金沢市昭和町14-5
TEL (076) 263-6622 FAX (076) 263-6626

平成 26 年 1 月 1 日

頌 春



金 沢 維 持 管 理 協 同 組 合

理 事 長 平 本 健 治
副 理 事 長 杉 岡 弘 樹
副 理 事 長 西 村 正 利

〒920-0953 金沢市涌波3丁目6番36号 TEL (076) 282-7810 FAX (076) 282-7811

石 川 県 撚 糸 工 業 組 合

理 事 長 上 田 高 志
副 理 事 長 黒 本 憲 治
副 理 事 長 山 下 勇

〒923-0813 小松市糸町3番地1号 TEL (0761) 22-3781 FAX (0761) 22-3762

一般社団法人 石 川 県 縫 製 協 会 石 川 県 輸 出 縫 製 品 工 業 協 同 組 合

代表理事 大 沼 利 洋

〒920-8202 金沢市西都1丁目226番地
TEL (076) 268-3223 FAX (076) 268-0570

石 川 県 織 物 工 業 協 同 組 合

理 事 長 山 本 一 人

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 TEL (076) 267-2173

石 川 県 テ ン ト シ ー ト 工 業 組 合

他	監 事	監 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	副 理 事 長	副 理 事 長	理 事 長
組 合 員 一 同	石 野 貴 義	中 島 正 昭	三 島 良 章	青 木 五 十 二	清 水 誠	西 川 雄 蔵	石 崎 貞 治	神 谷 邦 雄	菅 本 清 二	神 谷 邦 明	田 村 裕 二
	(株)石野テント	(有)中島テント商会	三島テント商会	(有)青木テント商会	清水テント(株)	(株)第一テント商会	(株)太陽テント北陸	アサヒシート(株)	(株)スガモトテント	アサヒシート(株)	(株)タムラテント

〒921-8066 金沢市矢木1丁目イ-143 TEL (076) 240-0001 FAX (076) 249-0030



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

加 賀 市 織 物 協 同 組 合

理 事 長 清 水 屋 眞 二

〒922-0815 加賀市大聖寺菅生口21番地の3
TEL (0761) 72-1710 FAX (0761) 72-1712

小 松 織 物 工 業 協 同 組 合

理 事 長 西 紀 幸

〒923-0801 小松市園町ハ36番地1
TEL (0761) 22-0690 FAX (0761) 22-0694

石 川 県 織 マ ー ク 工 業 協 同 組 合

理 事 長 江 端 稔

〒923-0802 小松市上小松町乙39番地2

小 松 絹 耀 織 マ ー ク 協 同 組 合

理 事 長 若 本 正 博

〒923-0945 小松市末広町95番地
TEL (0761) 22-7108 FAX (0761) 21-9500

金 沢 港 木 材 団 地 協 同 組 合

理 事 長 辻 利 陽

〒920-0211 金沢市湊2丁目118番地15
TEL (076) 238-7746 FAX (076) 238-7725

金 沢 木 材 協 同 組 合 プ レ カ ッ ト 金 沢

理 事 長 折 高 啓 一

〒920-0211 金沢市湊1丁目79番地 TEL (076) 237-5566
プレカット金沢 TEL (076) 237-3232

頌 春



石川県生コンクリート工業組合

県南共同試験場・県北共同試験場

〒921-8043 金沢市西泉3丁目33-1(生コン会館)
TEL(076)242-1401(代) FAX(076)242-1350

南加賀生コンクリート協同組合

理事長 村井 富雄

〒923-0964 小松市今江町3丁目709番地
TEL(0761)21-0108(代) FAX(0761)24-5591
URL <http://www.mkaga-con.jp/>

金沢地区生コンクリート協同組合

理事長 豊蔵 健夫

〒921-8043 金沢市西泉3丁目17番地
TEL(076)242-6662 FAX(076)242-6695
URL <http://www.hokuriku.ne.jp/namacon/>

石川県コンクリート製品協同組合

理事長 中川 敬雄

副理事長 辻端 義弘

副理事長 本田 利弘

〒920-0209 金沢市東蚊爪町ラ34番2 TEL(076)238-4723
<http://www.incl.ne.jp/concrete/>

白山麓砂利採取協同組合

理事長 橋浦 宗一

〒920-2122 石川県白山市鶴来知守町ル60
TEL(076)273-2112 FAX(076)273-0710

いしかわ砂利販売協同組合

理事長 端保 太市

〒923-1267 石川県能美郡川北町字壱ツ屋194番地
TEL(076)277-0066 FAX(076)277-1098



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

北 陸 鉄 工 協 同 組 合

理 事 長 多 川 直 信

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地 TEL (076) 267-1955

小 松 協 栄 瓦 企 業 組 合

代 表 理 事 池 田 利 明

〒923-0061 石川県小松市国府台5丁目29番地1
TEL (0761) 47-2219

石 川 県 鑄 物 工 業 協 同 組 合

理 事 長 塩 谷 哲 生

〒920-0211 金沢市湊4丁目63番地 TEL (076) 237-0701 FAX (076) 237-0704

石 川 県 第 三 機 器 協 同 組 合

理 事 長 岩 本 博 之
専務理事 東 誠 喜

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地 TEL (076) 267-2219

協 同 組 合 ア イ ケ イ ケ イ

理 事 長 中 村 健 一

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目3番地 TEL (076) 267-2219



人と技術のコミュニケーション

石 川 県 鉄 工 団 地 協 同 組 合

理 事 長 徳 野 与 志 一

白山市横江町1726-46 TEL (076) 275-4430 FAX (076) 276-8182



旭丘団地協同組合 旭丘団地第二協同組合

理事長 穂 田 竹 男
副理事長 北 村 哲 志 副理事長 高 松 喜与志
副理事長 西 恒 成 事務局長 切 石 権之介
白山市旭丘1丁目2番地 TEL (076) 275-3181

石川県プレス工業協同組合 協同組合石川県プレス工業管理センター

理事長 石 野 晴 紀
副理事長 越 村 一 典
副理事長 来 丸 秀 俊
役 職 員 一 同

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目3番地 TEL (076) 267-2125 FAX (076) 267-2126
URL : <http://www1.ocn.ne.jp/~imsa/> E-mail : imasa@lilac.ocn.ne.jp

石 川 県 鍍 金 工 業 組 合

理事長 鴻 野 洋 行
専務理事 野 村 忠
〒920-8208 石川県金沢市鞍月2丁目3番地
TEL (076) 267-2125 FAX (076) 267-2126

小 松 鉄 工 機 器 協 同 組 合

理事長 藤 井 寛 治
副理事長 塚 本 幹 雄 副理事長 曾 田 國 忠

〒923-0804 石川県小松市光町25番地
TEL (0761) 22-4261 FAX (0761) 20-1000

小 松 共 栄 工 業 協 同 組 合

理事長 島 田 潤一郎
副理事長 東 川 他喜男
副理事長 北 川 浩

〒923-0804 小松市光町25番地 TEL (0761) 24-0771



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

小松鉄工団地協同組合

代表理事 藤井 寛 治

〒923-0994 小松市工業団地1丁目62番地
TEL (0761) 24-3484 FAX (0761) 24-3483

金沢城西機器工場団地協同組合

理事長 中山 重 幸

専務理事 辻 哲 章

〒921-8006 金沢市進和町13番地 2
TEL (076) 291-2811

金沢精密機器協同組合

理事長 松本 要

〒920-0059 金沢市示野町28番地 TEL (076) 267-3212

石川県プラスチック成型加工工業協同組合

理事長 馬場 貢

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目3番地
TEL (076) 267-7121 FAX (076) 267-2126

石川県印刷工業組合

理事長 永野 博 信

副理事長 橋本 修 一 副理事長 出村 明

副理事長 吉田 克 也 事務理事 千田 行一路

石川県印刷会館 〒921-8002 金沢市玉鉾4丁目160番地
TEL (076) 291-0557 FAX (076) 291-7812

北陸グラビア協同組合

代表理事 賀谷 眞 尚

頌 春



石川県製本工業組合

理事長 笠間 史 盛
副理事長 示野 敏 弘
副理事長 中村 栄 伸
専務理事 堀岡 昭 夫

〒924-0021 白山市竹松町1905番 TEL (076) 275-9002 FAX (076) 275-9202

大野醤油醸造協業組合

理事長 山本 晴 一

〒920-0331 金沢市大野町4丁目甲18番地6 TEL (076) 268-1301
URL <http://www.oonomurasaki.jp/>

石川県菓子工業組合

理事長 小出 進

〒920-0902 金沢市尾張町2丁目12番1号
TEL (076) 221-8366 FAX (076) 221-8396

石川県パン協同組合

理事長 山下 正 幸

〒920-0855 金沢市武蔵町8番2号
TEL・FAX (076) 221-1653

輪島漆器商工業協同組合

〒928-0001 輪島市河井町24部55番地
TEL (0768) 22-2155 FAX (0768) 22-2894

金沢仏壇商工業協同組合

理事長 塗師岡 顕 治

〒920-0855 金沢市武蔵町8番2号 瀬沢ビル3階
TEL (076) 223-4914 FAX (076) 232-6714



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

石川県陶磁器商工業協同組合

理事長 吉田 正一

石川県能美市寺井町よ25番地 石川県九谷会館内
TEL (0761) 58-6656 FAX (0761) 58-6663
URL <http://www.kutani.or.jp>

石川県九谷窯元工業協同組合

理事長 宮吉 勝茂

石川県小松市正蓮寺町セイ谷10番2
TEL (0761) 47-3830

『九谷陶芸村』九谷焼団地協同組合

理事長 森 幸太郎 (有)九谷苑
副理事長 宮本 繁 (有)マルサン宮本本店
副理事長 東 秀樹 (株)満る文
会計理事 宮崎 政司 丸宮陶苑

〒923-1111 石川県能美市泉台町南22番地 TEL (0761) 58-6102 FAX (0761) 58-6149
URL:<http://www.hitwave.or.jp/kutani/> E-mail:kutani@po.hitwave.or.jp

⊕ 石川県いか釣生産直販協同組合

理事長 前田 善栄

能登町字出津井字10番地
TEL (0768) 62-3673(代)



各種展示会・研修会に
金沢流通会館をご利用下さい。

協同組合 金沢問屋センター

理事長 伊藤 淳藏

〒920-0061 金沢市問屋町2丁目61番地 TEL (076) 237-8585 FAX (076) 237-5240
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

頌 春



協同組合 小松問屋センター

理事長 吉原 慎吾

〒923-0037 小松市問屋町60番地 TEL (0761) 21-8655 FAX (0761) 21-9807



金沢中央水産物卸協同組合

理事長 塩川 英広
副理事長 池内 孝輔

〒920-0024 金沢市西念4丁目15番1号 TEL (076) 261-6368 FAX (076) 261-7319

金沢中央市場青果卸売協同組合

理事長 水野 市郎
副理事長 柿木 茂

〒920-0024 金沢市西念4丁目7番1号 TEL (076) 261-6366 FAX (076) 261-6399

北陸電設資材卸業協同組合

石川県支部
支部長 中西 英文

〒920-8543 金沢市問屋町1-11
TEL・FAX (076) 239-4551

石川県再生資源事業協同組合

理事長 島畑 朝羊

〒924-0855 白山市水島町335番地
TEL・FAX (076) 277-3355

石川県事務機事務用品協同組合

理事長 岩井 広政

金沢市大手町15-22
TEL (076) 261-8105 FAX (076) 232-2511



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

小松食品商業協同組合

理事長 長野 守 充
副理事長 永井 義 久 副理事長 中野 秀 治
理 事 黄木 茂 樹 監 事 通 次 康

〒923-0852 小松市南浅井町イ119番地1 TEL (0761) 23-0896

石川県セメント卸協同組合

理 事 長 小鍛治 誠

〒921-8027 金沢市神田1丁目2番15号 神田ビル1F
TEL (076) 244-0649 FAX (076) 244-0404

Ju石川 石川県中古自動車販売商工組合

理 事 長 宮 前 正 明

〒924-0038 石川県白山市下柏野町258番地
TEL (076) 276-9381 FAX (076) 275-6728

石川県「地域支え合いサポート企業」登録企業

石 川 県 電 器 商 業 組 合

理事長 上馬 定 司

〒920-0376 金沢市福増町南1304番 TEL (076) 249-5297 FAX (076) 249-8485
E-mail:ishikawads@po6.nsk.ne.jp

金沢市青果食品商業協同組合

理 事 長 須 田 紀久治

金沢市西念4丁目6番1号 TEL (076) 221-0651

ウイング北陸総合衣料商業協同組合



理 事 長 小 西 國 夫

〒920-3104 石川県金沢市八田町東125番地
TEL (076) 258-6611 FAX (076) 258-6918

頌 春



石川県医薬品小売商業組合

理事長 櫻井成克

〒920-0022 金沢市北安江4丁目28番地9号(薬業会館内)
TEL(076)231-5787 FAX(076)260-8481

金沢魚商業協同組合

理事長 平村敏一

副理事長 松任紀夫 専務理事 竹松 茂
事務局長 野口佳夫 役員一同

〒920-0024 金沢市西念4丁目7番1号 TEL(076)263-2204(代) FAX(076)263-2206

丸八倉庫協同組合

理事長 村端儀一

TEL(076)231-1468

石川県青果物小売商協同組合

理事長 山本加津雄

副理事長 柴山辰夫

専務理事 吉岡豊彦

〒920-0024 金沢市西念4丁目7番1号 TEL・FAX(076)265-6476

金沢港いきいき魚市 金沢港産地販売協同組合

理事長 川島和彦

〒920-0332 金沢市無量寺町ヲ52番地
TEL(076)266-1353 FAX(076)266-1352

近江町中央小売協同組合

理事長 荒井角男

〒920-0905 金沢市上近江町50番地 TEL(076)222-7822



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日



石川県自転車軽自動車事業協同組合

理事長 岡本 康宏

〒920-0053 金沢市若宮町ホの4 TEL(076)261-6812

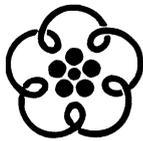
石川県石油販売協同組合 石川県石油商業組合

理事長 野村 幸宏
役員 一同

石川県保険薬局協同組合

代表理事 能村 明文

〒920-0032 金沢市広岡町イ25番地10(石川県薬事センター内)
TEL・FAX(076)265-5792



老舗が集うー

石川県観光物産館

理事長 小出 進

〒920-0936 金沢市兼六町2番20号
TEL(076)222-7788 FAX(076)222-5183

石川県化粧品小売協同組合

理事長 水辺 博久

〒920-0981 金沢市片町1丁目40番20号
TEL(076)261-7151

輪島市商店連盟協同組合

理事長 小山 桂一

〒928-0001 輪島市河井町20部1番地1
TEL(0768)22-7515 FAX(0768)22-6555

頌 春



協同組合 兼 六 園 観 光 協 会

理 事 長 馬 場 康 行

〒920-0936 金沢市兼六町1番25号
TEL (076) 221-6453 FAX (076) 221-6453



VAN
いしかわ

石川県小売薬業協同組合

理 事 長 若 林 威 志

〒921-8161 金沢市有松2丁目1番24号 TEL (076) 245-4787 FAX (076) 245-4767

石川県農業機械商業協同組合

理 事 長 柏 木 俊 一

〒921-8061 金沢市森戸2丁目201番3
TEL (076) 204-6360 FAX (076) 204-6361



協同組合コミュニティショッピングプラザ小松

理 事 長 桶 谷 聖 一

〒923-0801 石川県小松市園町ハ23番地1
TEL (0761) 23-1060 FAX (0761) 22-1137

アル・プラザ鹿島専門店街 かしま商業開発協同組合

理 事 長 松 本 憲 二

石川県鹿島郡中能登町井田と部1番地1 TEL (0767) 76-1020 FAX (0767) 76-0992



夢 ひ ろ が る
アスク
増穂浦ショッピングモール

富来町商業近代化協同組合

理 事 長 寺 岡 才 治

〒925-0447 羽咋郡志賀町富来領家町甲の26番地1
TEL (0767) 42-2000 FAX (0767) 42-2666



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

アビオシティ専門店街

協同組合 加賀ターミナルセンター

理事長 中島正満

〒922-0423 石川県加賀市作見町ル25番1
TEL(0761)72-8700 FAX(0761)72-8704

笑顔の郷
ショッピングセンター

田鶴浜あきんど協同組合



理事長 上野利一

〒929-2111 七尾市高田ほ部43
TEL(0767)68-8405 FAX(0767)68-8406

片町商店街振興組合

www.e-katamachi.com

理事長 小間井隆幸

〒920-0981 金沢市片町2-2-6 エクセビル8F
Tel(076)232-0630 Fax(076)232-0632

美と優しさ、そして楽しさの^{ステージ}舞台。

TATEMACHI

理事長 山岸淑子



近江町市場商店街振興組合

理事長 吉村 一

電話231-1462 FAX232-5502

info@ohmicho-ichiba.com

日曜も営業しています

謹賀新年

今年もご愛顧の程よろしくお願ひ申し上げます
楽しいお買い物は本町へ…

輪島市本町商店街振興組合

輪島市河井町2部40番地
TEL(0768)22-8446

頌 春



石川陸上輸送協同組合

理事長 東 博 保
組合員 一 同

〒920-0362 金沢市古府3丁目32番地
TEL (076) 249-3125 FAX (076) 249-3128



初春のお慶びを申し上げます。

赤帽石川県軽自動車運送協同組合

理事長 石 田 聖 悟

〒920-0056 金沢市出雲町1219番地
TEL (076) 233-1544

石川県貨物運送協同組合連合会 石川県高速運輸事業協同組合

会 長 山 田 秀 一

〒920-0365 金沢市神野町東8番地 TEL (076) 240-1003 FAX (076) 240-4588

北陸カーゴ軽自動車運送協同組合

〒921-8132 金沢市しじま台2丁目4番地13
TEL (076) 296-0993(代) FAX (076) 296-0994

石川県自動車整備商工組合

理事長 架 谷 憲 洋

〒921-8011 金沢市入江3丁目160番地

石川県税理士協同組合

理事長 木戸 通夫 副理事長 雲野 照正 副理事長 常山 明夫
副理事長 新保 康彦 副理事長 紅谷 実 専務理事 高柳 満

〒920-0022 金沢市北安江3丁目4番6号
TEL (076) 223-1841 FAX (076) 223-1873



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

官公需適格組合 石川県ビルメンテナンス協同組合

理事長 神 林 政 則

〒921-8061 金沢市森戸1丁目106番地 TEL (076) 240-3633 FAX (076) 214-6206

私たちのまちづくりのために一生懸命お手伝いをいたします。

金沢市一般廃棄物事業協同組合

理事長 福 島 幸 子

〒920-0962 金沢市広坂1丁目9番15号 石川郷友会館内
TEL (076) 234-7557 FAX (076) 234-7153

金 沢 医 療 事 業 協 同 組 合

理事長 国 光 哲 夫

〒920-0848 金沢市京町20番15号
TEL (076) 253-8320 FAX (076) 253-8323

石川県公安委員会 第51000118号

北 陸 警 備 業 協 同 組 合

理事長 浦 川 順 一

〒920-0804 金沢市鳴和2丁目1番8号 ハウス代官山ビル
TEL (076) 251-6022 FAX (076) 251-6066
URL <http://www.keibi.or.jp/> E-mail info@keibi.or.jp

協同組合全日本手技療術師協会連合会

理事長 中 村 準 太 郎

事務所 〒920-0101 石川県金沢市利屋町る34番地1
TEL (076) 225-7354

人・未来へ・貴方と一緒に

@ Station



<http://jinzai-at.jp/>

人材アットマークステーション協同組合

代表理事 高 由 紀

〒920-0062 金沢市割出町647-2 ウイルフラップ株式会社(内)
TEL (076) 237-8891 FAX (076) 237-0707

平成 26 年 1 月 1 日

頌 春



協同組合 アドビジネスセンター

代表理事 田中尚人

〒920-8222 石川県金沢市大友町ニ65-1
TEL (076) 239-5100 FAX (076) 239-5101

インターネット・携帯からも物件情報を検索できます

月刊 **住まい**

住まいと暮らしの情報をお届けする

レミット・グループ協同組合

代表理事 山田外志雄

〒920-0047 金沢市大豆田本町甲35番地1 TEL (076) 234-3131 FAX (076) 231-0002
URL <http://www.sumairu.or.jp>



謹賀新年



旧年中のご愛顧を感謝申し上げます。
本年も変わらぬお付き合いの程、宜しく願い申し上げます。

山中温泉やおわんさんの情報は
ホームページをご覧ください！

観光協会・旅館協同組合 TEL 0761-78-0330



山代温泉旅館協同組合

〒922-0243 石川県加賀市山代温泉北部3丁目70番地
TEL (0761) 77-1144 FAX (0761) 77-2109
<http://www.yamashiro-spa.or.jp>

和倉温泉旅館協同組合

理事長 田中道夫

〒926-0175 七尾市和倉町2部13番地の1
TEL (0767) 62-1555 FAX (0767) 62-2611

片山津温泉旅館協同組合

理事長 森本 正

〒922-0414 石川県加賀市片山津町ツ71番地 TEL (0761) 74-1123



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

謹 賀 新 年

金 沢 市 旅 館 ホ テ ル 協 同 組 合

理 事 長 石 田 憲 二

〒920-0964 金沢市本多町3丁目10番26号 TEL (076) 221-1147
URL : <http://www.yadotime.jp/> 金沢宿たいむ

金 沢 市 湯 涌 温 泉 観 光 事 業 協 同 組 合

代 表 理 事 山 下 彬

〒920-1123 金沢市湯涌町1
TEL (076) 235-1040 FAX (076) 235-1233

石 川 県 理 容 生 活 衛 生 同 業 組 合

理 事 長 長 田 實

〒920-0036 金沢市元菊町6番10号
TEL (076) 232-2362 FAX (076) 233-2219

石 川 県 美 容 業 生 活 衛 生 同 業 組 合

理 事 長 西 井 十 六 勝

〒920-0912 金沢市大手町9番18号
TEL (076) 221-1908 FAX (076) 221-7220

SPC JAPAN 北陸事業協同組合



理 事 長 泉 崎 富 子

〒923-0992 石川県小松市鶴ヶ島町25-1
TEL 0761-24-0065 FAX 0761-41-5820
<http://www.spchokuriku.com/>



協同組合 石川県高速道路交流センター

理 事 長 五 嶋 耕 太 郎

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館5F
TEL (076) 268-9922 FAX (076) 268-9924
URL <http://www.ikc.or.jp> E-mail info@ikc.or.jp



協同組合 全国企業振興センター

理事長 田中 博人

〒920-8222 金沢市大友町二65番地1
TEL (076) 226-1111 FAX (076) 239-5115 <http://www.ikoc.net/>

協同組合石川県中小企業経営者同友会

理事長 米 沢 寛

〒920-0345 金沢市藤江北2丁目363番地
TEL (076) 267-7741 FAX (076) 267-7955

協同組合 加賀能登のれん会

理事長 宮田 千暉

〒920-0902 金沢市尾張町1丁目1番19号
TEL (076) 232-1610 FAX (076) 232-1649
URL <http://www.kaga-noto.or.jp/>

協同組合 た く ま 石 川

理事長 川田 裕康

〒924-0843 白山市安吉町198番地
TEL (076) 274-1018 FAX (076) 274-1023

「ものづくり」の交流をめざして

安原工業団地協同組合

理事長 米澤 卓也
組合員一同

〒920-0377 石川県金沢市打木町東1400番地(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411 FAX (076) 240-1903

協同組合 アイテック

代表理事 紺谷 裕一

〒929-1215 石川県かほく市高松△68番地2
かほく市高松北会館2F
TEL (076) 281-0655



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

謹 賀 新 年

協同組合グローバル・ネット

理 事 長 三 國 進 一 郎

〒929-1215 石川県かほく市高松ケ13番地7 TEL(076)281-1080 FAX(076)281-1096

石川県異業種交流協同組合

代表理事 久 保 民 雄

〒920-0025 金沢市駅西本町2丁目5-16 KDビル2F
TEL(076)218-9301 FAX(076)264-4322

石川県エコ・カルチャー協同組合

理 事 長 森 岡 吉 男

〒920-0334 金沢市桂町ハ6番地
TEL(076)268-8386 FAX(076)268-8987

北陸対外事業協同組合

代表理事 橋 本 昇 一

〒920-0005 金沢市高柳町5-6-1 金沢SKビル2階
TEL(076)253-8595 FAX(076)253-8596

ビジネスアシスト事業協同組合

代表理事 藏 野 高

〒920-3116 石川県金沢市南森本町ホ30-1-3E
TEL(076)257-8095 FAX(076)257-8096

石川県中小企業共済協同組合

理 事 長 田 上 好 道

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 TEL(076)268-7300

平成 26 年 1 月 1 日

頌 春



謹賀新年 協 同 組 合 の と も ん

理 事 長 中 浦 政 克

〒928-0001 輪島市河井町4部98番地

社団法人 石川県ニュービジネス創造化協会

会 長 大久保 賢 司

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
TEL (076) 268-1919 FAX (076) 268-1929



KANAZAWA CHUO
COMMUNITY BANK

金沢中央信用組合

理 事 長 王 生 義 彦

〒920-0905 石川県金沢市上近江町15番地
TEL (076) 261-7111 FAX (076) 222-5988

金 沢 信 用 金 庫

理 事 長 忠 田 秀 敏

〒920-8710 金沢市南町1番1号
TEL (076) 231-0029

石 川 県 信 用 保 証 協 会

会 長 杉 本 勇 壽

〒920-0918 金沢市尾山町9番25号 TEL (076) 222-1511 (代表)

JFC 日本政策金融公庫

金 沢 支 店 〒920-0919 金沢市南町 6-1 朝日生命金沢ビル

支店長兼農林水産事業統轄 山下 和 昭 (076) 263-6472

中小企業事業統轄 米田 雄 二 (076) 231-4275

国民生活事業統轄 多田 久 俊 (076) 263-7192

小 松 支 店 〒923-0801 小松市園町ニ-1 小松商工会議所ビル

支店長兼国民生活事業統轄 坂番 勝太郎 (0761) 21-9101



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

日本の明日へ 中小企業とともに。



話せるパートナー 商工中金です。

安心・確実に増やしたい、個人のお客さまへ。

新型定期預金

マイハーベスト

有利な金利設定※

※当金庫内の商品と
比較した場合

固定金利の半年複利

1年、2年、3年から期間が選べる

●詳しくは、ホームページをご覧くださいか、店頭へお問合わせください。

金沢支店

〒920-0964 金沢市本多町 3-1-25
TEL:076-221-6141

人を思う。未来を思う。
商工中金

<http://www.shokochukin.co.jp/>

頌 春



一般社団法人加賀機電振興協会

会 長 東 野 哲 郎

〒922-0815 石川県加賀市大聖寺菅生口17番地3
TEL・FAX (0761) 72-6633
URL:<http://www.kagakiden.net/>
E-mail:k-kiden@kagacable.ne.jp

一般社団法人石川県洋菓子協会

会 長 鍋 島 盛 雄

〒921-8016 金沢市東力町ニ173
TEL / FAX (076) 291-5012

一般社団法人石川県地質調査業協会

会 長 尾 蔵 博

〒920-0059 石川県金沢市示野町西7番地
TEL (076) 267-3244 FAX (076) 267-3271
<http://www.ishikawa-geo.or.jp>
E-mail:info@ishikawa-geo.or.jp

石川エステティック協同組合

理事長 浅 田 明 晴

〒920-8205 石川県金沢市大友2-83 2F
TEL (076) 239-6555 FAX (076) 239-6556

金澤ウェディング協同組合

理事長 吉 井 麻 萌

〒920-0362 金沢市古府1丁目222番地(株式会社クラウド内)
TEL・FAX (076) 256-2242

内閣府認定 公益社団法人 全日本司厨士協会 北陸地方石川県本部

会 長 川 本 紀 男

金沢市南町4番60号 金沢大同生命ビル1階 ビストロ・シャレ内
TEL (076) 264-3072 FAX (076) 264-3082



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

失業なき労働移動のかけはし (無料職業紹介事業)



公益財団法人産業雇用安定センター

石川事務所長 山口 健

〒920-0869 金沢市上堤町1番12号 金沢南町ビル4階
TEL (076) 261-6047 FAX (076) 234-7651

経営相談・企業の診断・税務相談・税務申告指導

坂井 経営 会計 事務所

中小企業診断士 坂井 昭 衛
税 理 士

〒920-0804 石川県金沢市鳴和1丁目14番31号
TEL (076) 251-0940 FAX (076) 251-5036
E-mail : sakai-shoei@tkcnf.or.jp

弁護士法人まこと共同法律事務所

弁護士 久保 雅 史 得意分野 破産、サラ金整理、高齢者・障害者
弁護士 浅野 雅 幸 問題(成年後見)、離婚、遺言、相続、
弁護士 中 出 健 作 債権回収、少年事件、損害賠償、
事業承継

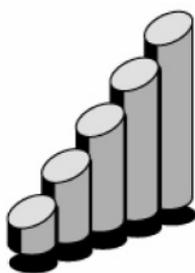
〒920-0912 金沢市大手町15番14号 アーバンハイム大手町 4階
TEL (076) 262-5757 FAX (076) 262-5177

池水 公認 会計 士 事務所

公認会計士 池 水 龍 一

〒920-0913 金沢市西町3番丁18番地 TEL (076) 263-0411

顧客満足を第一に考えています



北陸経営グループ

株式会社 北 陸 経 営

〒920-0953 金沢市涌波2丁目14番10号
TEL (076) 231-1120 FAX (076) 264-0103
URL <http://www.kitamura.gr.jp>

平成 26 年 1 月 1 日

頌 春



⊕ 末正社会保険労務士事務所

社会保険労務士 末正 哲朗

あなたのお仕事に関して
24 時間サポートいたします。
いつでもお気軽にご連絡ください。

〒921-8161
石川県金沢市有松2丁目9番18号 中山ビル2F
TEL (076) 213-6771 FAX (076) 213-6773
E-mail:suemasa@office-suemasa.com

税理士法人 泉が丘会計センター

代表社員 山根 敏秀

石川県金沢市泉が丘2丁目5番19号
TEL (076) 243-2762 FAX (076) 241-2460
<http://izumigaokakaikei.com>

輪島漆器商工業協同組合 相談役

輪島塗 株式会社 五島屋

代表取締役 会長 五嶋 耕太郎
代表取締役 社長 五嶋 躍治

〒928-0001 輪島市河井町2-161-2 TEL (0768) 22-5151 FAX (0768) 22-5154

富木医療器株式会社

代表取締役会長 富木 昭光
代表取締役社長 富木 隆夫

株式会社 明石合銅

代表取締役会長 明石 巖

〒924-0011 白山市横江町1484 TEL (076) 276-5533



シシク SISIKU アドクライス株式会社

SISIKU ADDKREIS CORPORATION

代表取締役社長 家倉 平八

〒921-8006 金沢市進和町29番地
TEL (076) 291-0330 FAX (076) 291-0332



2010年 グッドデザイン賞受賞
特許 第4579285号
トーションキャスター



頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

中央会共済制度委託会社

三井生命保険株式会社

北陸支社長 横森 準



お問い合わせは… TEL(076)222-0612

わたしを守れ。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心



クルマの保険



住まいの保険



けがの保険

〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2 www.ms-ins.com

石川県中小企業団体中央会集団扱制度のご案内

＝企業向け火災保険の決定版＝



の見積をとってみませんか？



Member of AIG

企業財産包括保険＋企業財産包括保険追加特約条項（三冠王用）

- ❓ コストカットはできないの??
- ❓ 今の契約、補償内容は大丈夫??
- ❓ 保険の満期管理が大変!!
- ❓ 何かいい手はないの??



こんなご要望に
富士火災がお答えします

【お問合せ先】

富士火災海上保険株式会社

金沢支店

〒920-0962 金沢市広坂1-2-24

TEL: 076-222-0005

2010.05 03533 10-0288

この広告は「集団扱制度」の概要を説明したものです。

詳しくは「三冠王」企業財産包括保険追加特約付企業財産包括保険

パンフレット」をご覧ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店・営業社員までお問い合わせ下さい。

ICCはIT関連サービスの提供を通じて地域社会の高度情報化に貢献します。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。



株式会社

石川コンピュータ・センター

〒920-0398 金沢市無量寺町ハ6番地1 TEL(076)268-831/FAX(076)268-5442

【拠点】野々市・東京・名古屋・大阪・富山・福井 http://www.icc.co.jp/

理光商事株式会社

代表取締役社長 田川 孝三

デジタルカラー複写機
パーソナルコンピュータ

本社 〒920-0061 金沢市問屋町2丁目38番地
TEL(076)237-4455(代表)

営業所 〒926-0033 七尾市千野町へ部38-1
TEL(0767)57-3244

ソノダ印刷株式会社

代表取締役 水戸 俊樹

〒921-8161 金沢市有松4丁目3番25号 TEL(076)247-5157

E-mail: eigyo@sonoda-p.com

平成 26 年 1 月 1 日

頌 春



ことづくりカンパニー
MP 宮下印刷株式会社

代表取締役社長 宮下 光信

本社 〒920-0047 石川県金沢市大豆田本町甲251番地 TEL (076) 263-2468(代) FAX (076) 263-1234
東京office 〒164-0012 東京都中野区本町2-8-8 TEL (050) 3624-7674 FAX (03) 5371-7378

<http://www.e-miyashita.jp>

前田印刷株式会社

代表取締役 前田 典千代

〒924-0004 白山市旭丘2丁目16番地
TEL (076) 274-2225 FAX (076) 274-5223

ミナミ印刷株式会社

代表取締役 南 直行

〒921-8051 金沢市黒田1丁目270番地2
TEL (076) 240-4441 FAX (076) 240-4443

北国総合リース株式会社

取締役社長 金井 行雄

〒920-0981 金沢市片町2丁目2番15号(北国ビル6F)
TEL (076) 222-9311 FAX (076) 222-7420

* あなたの旅、ご出張をお手伝いいたします! * JTB 特定パートナー店 JAL ANA 代理店

観光庁長官登録旅行業第1454号

KT 株式会社 **カンポトラベル**

代表取締役 沢口 徹

本社 〒921-8527 金沢市窪7丁目369番地 TEL (076) 247-5000(代)
富山営業所 〒930-0072 富山市桃井町1丁目2番10号 TEL (076) 491-3800(代)
福井営業所 〒910-0015 福井市二の宮2丁目28-38 TEL (0776) 21-1622(代)

<http://www.kampotravel.co.jp/>





頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

knt!

近畿日本ツーリスト 特約店

石川県知事登録旅行業第3-87号

株式会社 **トラベルシティ**

代表取締役 北 敏 一

〒921-8002 金沢市玉鉾4丁目197番地
TEL (076) 291-8989 FAX (076) 291-8990
E-mail:travelcity@p04.nsk.ne.jp



代表取締役社長 梶 井 真

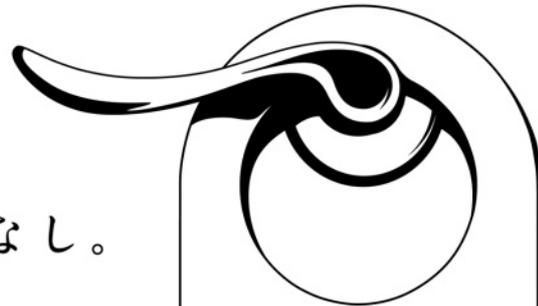
■ HAKUHODO

www.hokuriku.hakuhodo.co.jp

北陸博報堂

[本 社] 金沢市南町4-1 金沢ニューグランドビル2階
TEL 076-222-5121 FAX 076-222-7440
[富山支社] 富山市牛島町18-7 アーバンプレイス5階
TEL 076-431-2010 FAX 076-431-2008

一 期 一 (縁) のおもてなし。



ホテル日航金沢
hotel nikko kanazawa

〒920-0853
石川県金沢市本町2-15-1(JR金沢駅東口前)
TEL 076-234-1111 www.hnkanazawa.jp



平成 26 年 1 月 1 日

頌 春



第一級のホテル機能と
「おもてなしの心」を大切にしたサービスで
くつろぎのひとときをお届けいたします。







EXCEL
HOTEL TOKAI
G TOKAI HOTELS

金沢 エクセルホテル東急
〒920-0961 金沢市香林坊2-1-1 Tel. 076-231-2411 Fax. 076-263-0154
<http://www.kanazawa-e.tokyuhotels.co.jp>

21世紀の環境創造



株式会社 柿本商会

取締役社長 柿本自如

本社／石川県金沢市藤江南2丁目28番地 TEL (076) 268-2111 <http://www.kakimoto.co.jp>



創る力と、伝える技術——

能登印刷株式会社

グループ本社 〒920-0855 金沢市武蔵町7-10 TEL 076-233-2550(代)
印刷メディア事業部 〒924-0013 白山市番匠町293 TEL 076-274-0084
富山営業所 〒939-8064 富山市赤田761-1 TEL 076-420-7030
関西営業所 〒563-0032 大阪府池田市石橋2-15-24-610 TEL 072-760-3155
東京営業所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-6-2 神田ビル203 TEL 03-5822-2772

能登印刷グループ

SYNERGY シナジー株式会社

〒920-0863 金沢市玉川町6-30 TEL 076-265-4040



Gato Shoin 梧桐書院

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-6-2 神田ビル203 TEL 03-5825-3620



ヨシダ宣伝

金沢・富山・新潟・東京・福井・上越・長岡・長野

株式会社 浅野太鼓楽器店

代表取締役 浅野昭利

〒920-8222 石川県白山市福留町587-1





頌 春

平成 26 年 1 月 1 日

石川県中小企業青年中央会

会 長 直 江 潤一郎

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5F
TEL (076) 267-7711 FAX (076) 267-7720 E-mail : seichu@icnet.or.jp

石川県中小企業団体中央会女性部

会 長 安 藤 喜代子

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5F
TEL (076) 267-7711 FAX (076) 267-7720

石川県中小企業団体事務局協議会

役 員 一 同

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館5F
TEL (076) 267-7711 FAX (076) 267-7720

くみWai広場

こんにちは

事務局さん

事務局

岡田 敏江さん

古澤 珠実さん



かしま商業開発協同組合

仕事の内容を教えてください

岡田・古澤：ショッピングセンターの運営管理

「座右の銘」「好きな言葉」は何ですか？

岡田：明日は明日の風が吹く

古澤：継続は力なり

岡田・古澤：初心忘るべからず

最近、「1番うれしかったこと」又は「感動したこと」は何ですか？

岡田：働いている方からありがとうと言われたとき

古澤：友達から優しくしてもらった事

組合のPRをお願いします

能登一番店のショッピングセンターとして地域のお客様のために地域貢献していきたいと考えております。また、1月1日10時から初売りしております。ぜひ皆様お立ち寄り下さい。



アルプラザの写真

当コーナーに登場していただける事務局さんを募集中です！自薦、他薦は問いませんので、中央会事務局まで連絡をお待ちしています！

From 編集室

毎年、漢字の日(12月12日)に日本漢字能力検定協会が発表している「今年の漢字」。2013年は「輪」に決まりました。2020年の夏季オリンピックの東京招致成功などが理由とされており。私はニュースを聞いて、始めに輪島の「輪」だなと連想しましたが、この「輪」という漢字は人のつながりなどを意味し、中小企業組合組織も連想しました。2014年は消費税の増税や北陸新幹線開業が間近に迫るなど環境が大きく変化する年となると思われ。企業や人の「輪」により、組合や企業がますます発展する年となるよう願います。



編集者H

Q プレゼントクイズ

事務局さんで取材させていただいた
かしま商業開発協同組合の初売りは

「1月〇日」

〇にあてはまる数字1字をお答えください。

正解者の中から抽選で3名の方に、粗品を差し上げます。

この一言、あの名言「天才騎手と天才棋士」武豊&羽生善治編

【武豊】

- 一、成功したらどうしようとは考えませんが、失敗することは全然考えません。
- 一、とにかく、やるべきこと、やれることを全部やるだけ。
- 一、昨日のボクより上手に乗れるようになってほしい。

【羽生善治】

- 一、三流は人の話を聞かない。二流は人の話を聞く。
- 一、一流は人の話を聞いて実行する。超一流は人の話を聞いて工夫する。
- 一、すでに過ぎ去ったことは仕方がない。私は、意識的に先のことを考えるようにしています。反省は勝負がついた後でいい。
- 一、何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって継続しているのは非常に大変なことである。私は、それが才能だと思っている。

今後、よりよい誌面づくりを行うために読者の皆さんからのご意見、ご要望をお伺いしたいと思いますので、同封のプレゼント付き読者アンケート回答へのご協力をお願いします。少しでも多くの“声”をお待ちしています。

回答は中央会 FAX：076-267-7720 までお送り下さい。

石川県中小企業団体中央会

Facebookページ

facebook

メールアドレス

石川県中央会 facebook

で検索

アカウント登録

Facebookを使うと、友達や同僚、同級生、仲間たちとつながりを深められ、モバイル、スマートフォンからもアクセスできます。

石川県中小企業団体中央会

いいね!

いいね!

ファン登録をお願いします。

- ★より身近な情報提供を行います。
 - ★アンケートなどを行って、より充実した情報を発信します。
- ※なお、ファン登録を行うためには、Facebookアカウントを取得(無料)する必要があります。

石川県中央会
フェイスブック
ページ
掲載事例の
ご紹介

